レクイエム・プロジェクト

REQUIEM PROJECT

被災地、ひと、地域が
いつしか つながっていく
市民参加型の合唱プロジェクト

レクイエム・プロジェクトは
2018年
10周年を迎えます。

このプロジェクトはこれまでに
長崎市 被爆70周年・記念事業
平成28年度 宮城県文化芸術の力による心の復興支援事業
などに採択されています。

失われた“いのち”　傷ついた心
破壊されたふるさとや自然。

音楽に何が出来るのか？
音楽に果たせる役割があるのか？

被災地・神戸と深く関わり続けてきた
作曲家・上田益が主宰し
ひとつの形にしたものが レクイエム・プロジェクトです。

悲しみや苦しみを分かち合い
追悼 そして明るい未来への願いを ”うた” に託し
生かされた“いのち”と　それぞれの思いを重ねて
伝えていく

そんなプロセスを大切にしています。

被災地の詩人と共に上田益が書下ろす
追悼と希望の合唱作品などを共に歌うことで
被災地、ひと、地域が
いつしか つながっていく
市民参加型の合唱プロジェクト

それがレクイエム・プロジェクトです。

<これまでの累計：全国の合唱団参加者のべ 約3,000人、コンサート来場者数 20,000人以上>

（写真：陸前高田 奇跡の一本松、2012年1月10日撮影）

# ご挨拶

レクイエム・プロジェクト実行委員会代表（主宰者）
作曲家 ： 上田 益（うえだ すすむ）

2008年に神戸で始まった「レクイエム・プロジェクト」も、2018年に10周年を迎えることになりました。各地でご尽力下さっている指導者の先生方、ピアニスト、オーケストラ・メンバーの方々、そしてこのプロジェクトを行わなければ、きっと出会うことがなかった詩人の方々、8年にわたり特別協賛をいただいている(株)ケー・エフ・シー様をはじめ、ご賛同とお力添えをいただいている多くの方々に支えられて、ここまで続けられたことに心から感謝申し上げます。

そしてこの活動の趣旨に賛同し、合唱団に参加してくださっている多くの皆さまとともにここまで歩んできた時間は、私にとりまして貴重であると同時に、かけがえない宝物です。

2018年1月21日（日）には、神戸文化ホール大ホールに於きまして、10周年の記念演奏会を開催致します。各地の合唱団有志・指導者・ピアニストも多数集まるその演奏会は、この10年間の集大成であると同時に、今後も継続していくこのプロジェクトの活動と思いが、より多くの方々に伝わり、広がっていくための大切な機会だと思っております。

どうか、これからも「レクイエム・プロジェクト」へのお力添えを、心からお願い申し上げます。

◆上田 益 プロフィール

・1956年、大阪に生まれる。京都市立芸術大学音楽学部作曲専攻卒業。廣瀬量平氏に師事。京都音楽協会賞受賞。
・1980年、文化庁芸術家国内研修員に選出され、東京において研鑽を積む。
・1982年、関西での本格的な活動を開始し、以後1994年秋に拠点を東京に移すまで、クラシック音楽の演奏家からの委嘱により、数多くの作品を発表。また自らも作品展を２度開催する。
・1989年、福井市制100周年記念式典の音楽を担当。
・1994年、広島アジア競技大会「開会式」「閉会式」のパフォーマンス音楽を担当。この年の秋に、創作活動の拠点を東京に移し、以後現在に至るまで、サウンド・プロデュース、TV番組テーマ、ドラマ、アニメなど様々なジャンルにおける創作活動を行う。
・1998年、長野オリンピック・公式楽曲「WINTER FLAME」を作曲。
・1999年～現在（プロジェクト関連）

神戸ルミナリエ会場演出用の音楽を1999年から現在まで18年間担当。2005年からは阪神・淡路大震災犠牲者のための「追悼コンサートいのりのとき」を神戸市内で毎年開催。2008年2月から準備をはじめ、2010年1月17日（震災から15年）に向けた「レクイエム・プロジェクト」を、その年の6月より神戸で実施。「追悼と希望」「大切ないのちへの思い」をテーマとしたこの活動は、自然災害や戦災で傷ついた地域に広がり、神戸・東京・沖縄・長崎・兵庫県佐用町、そして東日本大震災の被災地、仙台・南相馬・北いわて（久慈市、野田村を中心とする岩手北部沿岸地域）、気仙沼でこれまで実施され、そのほとんどで現在も継続した活動を行っている。

海外でもレクイエム・プロジェクトのコンサートが行われ、2012年にはプラハ（ドヴォルザーク・ホール）、2014年にはウィーン・聖シュテファン大聖堂主催の公式グランドコンサートにおいて、「レクイエム～あの日を、あなたを忘れない～」などを演奏。10分間以上のスタンディング・オベーションが続き、教会でのコンサートとしては異例の反響となった。また2016年9月には、バチカン教皇庁の特別な許可により、復興祈念、平和への祈りを目的としたレクイエム・プロジェクト「バチカン・イタリア特別公演」を行い、サン・ピエトロ大聖堂、システィーナ礼拝堂（以上バチカン）、聖フランチェスコ聖堂（アッシジ）、サンタ・トリニータ教会（フィレンツェ）で、各被災地からの合唱団有志らと共に演奏を行い、大成功を収めた。さらにはこの公演に際し、新作「Missa Brevis - precatio pro pace - 」（全楽譜出版社刊）を、フランシスコ法王に献呈する栄誉を与えられた。

上田益 公式ホームページ　http://www.composer-ueda.com/

# プロジェクトを応援していただいている自治体・団体

## ■助成いただいた財団など

●公益財団法人ひょうご震災記念21世紀機構●ひょうご安全の日推進県民会議●(公財)関西・大阪21世紀協会●(公財)宮城県文化振興財団●仙台市市民文化事業団●(財)朝日新聞文化財団●(財)三菱UFJ信託地域文化財団●(公財)大阪コミュニティ財団●(財)アサヒビール芸術文化財団●JR西日本あんしん社会財団●私的録音補償金管理協会●(公財)エネルギア文化・スポーツ財団●(公財)松園尚巳記念財団●(公財)十八銀行社会開発振興基金●宮城県 文化芸術の力による心の復興支援助成

## ■ご後援いただいた自治体、新聞社、放送局など

●東京都●兵庫県●沖縄県●長崎県●広島県●宮城県●福島県●神戸市●長崎市●広島市●仙台市●南相馬市●札幌市●五島市●佐用町●兵庫県教育委員会●長崎県教育委員会●広島県教育委員会●神戸市教育委員会●那覇市教育委員会●浦添市教育委員会●長崎市教育委員会●五島市教育委員会●広島市教育委員会●南相馬市教育委員会●佐用町教育委員会●久慈市教育委員会●洋野町教育委員会●野田村教育委員会●普代村教育委員会●葛巻町教育委員会●札幌市教育委員会●朝日新聞●読売新聞●神戸新聞●沖縄タイムス●琉球新報●河北新報社●中国新聞社●福島民報社●福島民友新聞社●岩手日報社●デーリー東北新聞社●北海道新聞社●NHK神戸放送局●NHK沖縄放送局●NHK長崎放送局●NHK 広島放送局●NHK仙台放送局●NHK福島放送局●NHK盛岡放送局●毎日放送●朝日放送●関西テレビ●読売テレビ●琉球放送●琉球朝日放送●沖縄テレビ●長崎放送●テレビ長崎●長崎文化放送●長崎国際テレビ●中国放送 ●広島テレビ●広島ホームテレビ●テレビ新広島●東北放送●東日本放送●ミヤギテレビ●仙台放送●福島中央テレビ●福島放送●テレビユー福島●福島テレビ●サンテレビジョン●長崎ケーブルメディア●ニッポン放送●ラジオ関西●ラジオ沖縄●エフエム沖縄●エフエム長崎●広島エフエム●(財)神戸新聞文化財団●(財)対馬丸記念会●中華人民共和国大阪総領事館●駐神戸大韓民国総領事館●タイ王国大阪総領事館●駐日トルコ共和国大使館●在大阪イタリア総領事館●在大阪インドネシア総領事館●日本中国文化交流協会●在チェコ日本国大使館●三陸鉄道(株)●(公財)音楽の力による復興センター東北●九州商船(株)●エフエム岩手●ダナス・プランニング●全音楽譜出版社●カワイ出版 ほか

## ■ご協賛いただいた企業、自治体、財団

＜特別協賛＞●（株）ケー・エフ・シー ※2010年より毎年 ＜自治体協賛＞長崎市（被爆70周年事業）
＜協賛＞●三菱東京UFJ銀行●全日本空輸（株）●（株）日立製作所●（財）沖縄美ら島財団●さんちか●（株）伊丹産業●伊丹シティホテル●（株）関西スーパーマーケット●日本エスリード（株）●日東物産●敷島製パン労働組合神戸支部●敷島製パン労働組合神戸冷食支部●（有）平中鉄工所●北リアス病院●(株)丸才●宮城建設(株) ほか

## ■活動を記事掲載していただいた新聞社、出版社

●朝日新聞●読売新聞●毎日新聞●産経新聞●神戸新聞●長崎新聞●河北新報●沖縄タイムス●琉球新報●福島民報社●福島民友新聞●岩手日報●デーリー東北●西日本新聞●中国新聞●音楽之友社

## ■活動をニュースや特集などで放送していただいたテレビ局、ラジオ局

●NHK神戸放送局●NHK長崎放送局●NHK仙台放送局●NHK沖縄放送局●ミヤギテレビ●毎日放送●朝日放送●長崎放送●テレビ長崎●長崎文化放送●長崎国際テレビ●サンテレビジョン●ラジオ関西●NBCラジオ●CAT-V 仙台ケーブルテレビ●長崎ケーブルメディア

（写真：南相馬市萱浜 菜の花と鯉のぼり、2013年5月15日撮影）

# 現在までのプロジェクト実施地域、関連活動地域

●神戸（2008～現在）
阪神・淡路大震災犠牲者の追悼をきっかけに 2008 年 6 月から活動し、7 月から合唱団の練習を開始。2017 年 6 月に活動 10 年目を迎えます。2016 年までは毎年震災の日である 1 月 17 日にコンサートを実施。2017 年より、他地域の参加者が参加しやすい日程で開催。各地のプロジェクト・コンサートに毎回有志が多く参加し、活動の中心的存在。毎年コンサートを開催。

■札幌（2012 年 3 月 11 日）
東日本大震災チャリティーコンサート実施。神戸と東京の団員有志が参加。

●北いわて（2013 年～現在）
東日本大震災犠牲者の追悼をきっかけに活動を開始。久慈、野田村を中心に、八戸や盛岡を含む周辺地域からも参加。2017 年 12 月に活動 5 年目を迎えます。

●兵庫県佐用町（2010 年～現在）
2009 年に発生した水害犠牲者の追悼をきっかけに活動を開始。2017 年 11 月に、活動 8 年目を迎えます。数年に 1 回コンサートを開催するほか、積極的に合唱団としての定期演奏会を行っています。

●広島（2013 年～現在）
原爆犠牲者の追悼をきっかけに活動を開始。さらに 2014 年に発生した大規模土砂災害犠牲者の追悼も加わる。2017 年 3 月に活動 5 年目を迎えます。ほぼ毎年コンサートを開催。

●気仙沼（2015 年）
東日本大震災犠牲者の追悼をきっかけに、期間を区切って活動。

■福島（2012 年 3 月 16 日）
東日本大震災チャリティーコンサート実施。東京の指導スタッフ、団員有志が参加。

●南相馬（2013 年～2014 年）
東日本大震災犠牲者の追悼をきっかけに、期間を区切って活動。

●仙台（2013 年～現在）
東日本大震災犠牲者の追悼をきっかけに活動を開始。東日本大震災被災地の中心的活動地域として、100 名を下らない団員が常時在籍。毎年 1 回、コンサートを開催。大船渡や陸前高田の人たちも、毎年仙台のコンサートに参加しています。2017 年 4 月に活動 5 年目を迎えます。

●東京（2010 年～現在）
2017 年 4 月に活動 8 年目を迎えます。各地のプロジェクト・コンサートに毎回有志が多く参加し、神戸とともに活動の中心的存在。東京大空襲、関東大震災などの災害を活動根拠としています。数年に 1 回コンサートを開催するほか、不定期に合唱団としての定期演奏会を行っています。

●沖縄（2010 年～2015 年）
沖縄戦の犠牲者追悼をきっかけに活動を開始。2015 年の沖縄戦終結 70 年を機に、活動休止。

●長崎（2012 年～現在）
原爆犠牲者の追悼をきっかけに活動を開始。趣旨に賛同し、公募により集まった合唱団員数は全国でも有数で、100 名を切ることはありません。2015 年のコンサートは、長崎市被爆 70 周年事業に採択され、浦上天主堂に約 1200 人の来場者を迎えて追悼コンサートを行いました。2017 年 9 月で活動 6 年目を迎えます。毎年コンサートを開催。

＜海外での活動＞
●プラハ（チェコ）：2012 年 4 月 1 日、東日本大震災チャリティーコンサートをドヴォルザーク・ホールでプラハ・フィルと開催。日本から神戸・東京の声楽ソリスト 5 人と合唱団有志 17 人が参加。
●ウィーン（オーストリア）：2014 年 10 月 11 日、聖シュテファン大聖堂主催公式コンサート。東日本大震災から 3 年を迎え、その追悼の思いを込め、神戸・東京の声楽ソリスト（指導者）8 人、仙台、南相馬、東京、神戸、広島、長崎から参加したプロジェクト合唱団有志、そして仙台フィルメンバー4 人を含む総勢 158 人と現地のプロ・オーケストラにより演奏。
●復興祈念と平和への祈りを込め、バチカン教皇庁の特別な許可を得て、「バチカン・イタリア特別公演」を実施。サン・ピエトロ大聖堂ミサでの演奏、システィーナ礼拝堂での献唱（以上バチカン）、聖フランチェスコ聖堂（アッシジ）、サンタ・トリニータ教会（フィレンツェ）での演奏会を行う。声楽ソリスト 4 人と各地のプロジェクト合唱団有志、総勢 106 人により演奏。

# プロジェクトで生まれた合唱曲の刊行楽譜・CD（2017年1月末現在）

※作曲はいずれも、上田益

◆レクイエム～あの日を、あなたを忘れない～＜ラテン語テキスト、出版：全音楽譜出版社＞（全10曲）
◆スターバト・マーテル～悲しみの聖母～＜ラテン語テキスト、出版：全音楽譜出版社＞（全10曲）
◆ミサ・ブレヴィス～平安への祈り～、アヴェ・マリア＜ラテン語テキスト、出版：全音楽譜出版社＞（全7曲）
◆和合亮一：作詩　混声合唱組曲「黙礼」＜出版：カワイ出版＞（全5曲）
◆和合亮一：作詩　女声合唱組曲「黙礼」＜出版：カワイ出版＞（全5曲）
◆伊波希厘：作詩　混声合唱組曲「遥かなる海へ」＜出版：全音楽譜出版社＞（全4曲）
◆伊波希厘：作詩　女声合唱組曲「遥かなる海へ」＜出版：全音楽譜出版社＞（全4曲）
◆和合亮一：作詩　混声合唱組曲「光と木の影に」＜出版：カワイ出版＞（全4曲）
◆和合亮一：作詩　女声合唱組曲「光と木の影に」＜出版：カワイ出版＞（全4曲）
◆伊波希厘：作詩　女声合唱のための「4つの愛のうた」＜出版：全音楽譜出版社＞（全4曲）
◆宇部京子、上田益 ほか：作詩
　　混声合唱のための「ふるさとのうた いのちのうた」＜出版：全音楽譜出版社＞（全6曲）
◆伊波希厘：作詩　児童（女声）合唱組曲「今この時を」＜出版：全音楽譜出版社＞（全4曲）
◆宇部京子：作詩　女声（児童）合唱のための「三陸（さんてつ）鉄道が行く～小さな村の物語～」(全7曲)

＜CD＞Amazonならびにパナムジカで販売

●レクイエム～あの日を、あなたを忘れない～　※プラハ・レコーディング

●上田益 混声合唱作品集　●上田益 女声合唱作品集

# 組織図（各地合唱団員総計 約450人、小学生から80歳代の方まで在籍。 ※2017年1月末現在）

**レクイエム・プロジェクト**
実行委員会（本部）
＜代表・全体指導＞
上田 益
＜副代表＞
高田 薫

---

**レクイエム・プロジェクト**
神戸いのりのとき合唱団・実行委員会
代表：上田 益
指導声楽家：緋田芳江、北爪かおり、栗木充代
眞木喜規、橘 茂
ピアニスト：林 葉子、陶山薫子、河村泰子

---

**レクイエム・プロジェクト**
東京いのりのとき合唱団・実行委員会
代表：上田 益
指導声楽家：本宮廉子、横町あゆみ、大塚雅仁
ピアニスト：田所夕紀

---

**レクイエム・プロジェクト**
佐用いのりのとき合唱団
代表：上田 益
指導声楽家：北爪かおり　ピアニスト：林 葉子

---

**レクイエム・プロジェクト長崎**
合唱団・実行委員会
実行委員長：大堀 哲（長崎歴史文化博物館 館長）
合唱指導：大岩しのぶ
ピアニスト：ゲイル徳子

---

**レクイエム・プロジェクト広島**
合唱団・実行委員会
実行委員長：佐伯康則（作曲家・合唱指揮者）
合唱指導：佐伯康則、大島久美子
ピアニスト：大下枝里子、柳原真希

---

**レクイエム・プロジェクト仙台**
合唱団・実行委員会
実行委員長：工藤欣三郎（合唱指揮者）
合唱指導：工藤欣三郎、平川敬子、佐賀慶子
ピアニスト：菅原紀子、千葉祥子

---

**レクイエム・プロジェクト北いわて**
合唱団・実行委員会
実行委員長：小林友美
合唱指導：小林友美　ピアニスト：廣﨑 恵

# プロジェクトのコンセプト、特徴

心寄せ合うとき
失われた“いのち”への思いは
重なり合い
歌となり
未来につながる！

各地の惨禍の犠牲となられた方々への追悼を中心に据えながら
今を生きる私たち、生かされている私たちが「いのちの意味」を見つめ直し
「大切ないのち」に対する思い、そして惨禍の記憶を“うた”に託し
希望にあふれる未来への願いとともに伝えていくことが
コンセプトです。

コンサートを目的とした、一過性の活動ではなく
またイベントでもありません。

各地のレクイエム・プロジェクト合唱団は
毎月２回～4 回（地域により回数は異なります）練習しています。
継続した練習活動の中で、参加者自身が「歌うことの意味」を見つけていく。
そのプロセスが、一番大切な活動だといえます。

また直近の被災地以外の人たちも
プロジェクトに参加する中で被災地の思いを共有し
共感し合えるような活動を目指しています。

各地域でのコンサートは
「思いを共に伝える」ための大切な機会です。

主宰者・上田益がプロジェクトのために作曲する合唱曲の詩の多くは
被災地の詩人が、このプロジェクトのために書き下ろしたものです。

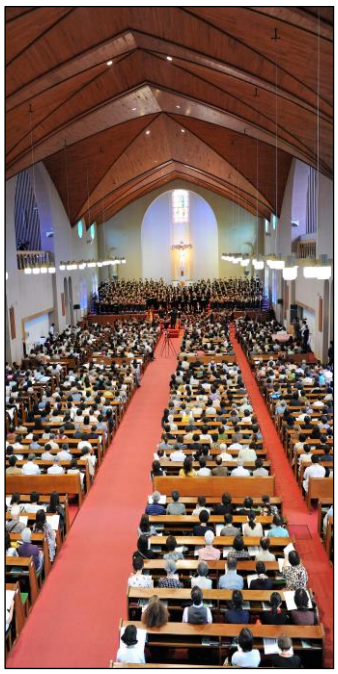
被災地の詩人による書下ろしの詩は
その地域のことを考えるための大切な糸口となり
参加者だけではなく、コンサートの来場者（被災者でもある）をもつなぐ
重要なファクターとなっています。

プロジェクトで生まれた楽曲を中心に
どの地域の合唱団も、ほぼ同じ時期に同じ楽曲を練習しています。
そのことにより、遠く離れた地域の人たちが、いつでも一堂に会し演奏することが可能です。

（写真：津波により多数が犠牲になった石巻市大川小学校の校庭にある卒業制作の一部、2014 年 5 月 4 日撮影）

# 活動のフォト・ギャラリー

全国各地のプロジェクト合唱団員は、日頃ほぼ同じ曲を練習しています。そのためいつでも他地域のコンサートに自由に参加することが可能となり、その交流をとおして、いつしか、つながっていくのです。

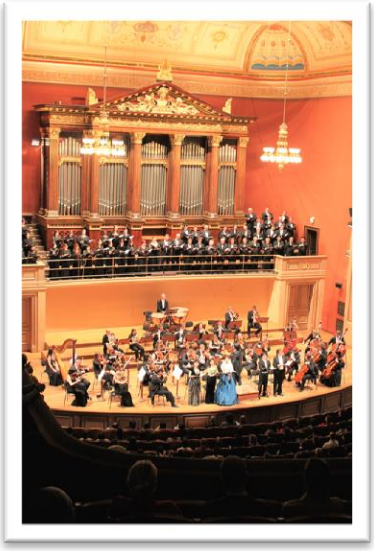


# 海外での活動

■プラハ（2012.3.30～31 CD レコーディング、4.1 東日本大震災追悼チャリティーコンサート
＜在チェコ日本国大使館：後援＞）ソリスト：本宮廉子、北爪かおり、横町あゆみ、坂口寿一、熊谷隆彦
オーケストラ：プラハ・フィルハーモニー、合唱：キューン合唱団、神戸、東京の合唱団有志 17 人が参加。

＜Barrandov studio＞

＜Concert at Rudolfinum＞



■ウィーン・聖シュテファン大聖堂 主催 公式コンサー（2014.10.11）
東日本大震災から３年。８人のソリスト（緋田芳江、本宮廉子、北爪かおり、池端 歩、岡本雄一、坂口寿一、緋田吉也、小藤洋平）のほか、各地から合唱団員有志と、仙台フィルメンバー有志ら総勢 158 人が参加。
オーケストラはウィーン・ドーム・オーケストラ。

■復興祈念・平和への祈り「ヴァチカン・イタリア特別公演」（2016.9.16～9.25）
バチカン教皇庁の特別な許可を得て実施。サン・ピエトロ大聖堂ミサでの演奏、システィーナ礼拝堂での献唱（以上バチカン）、アッシジ：聖フランチェスコ聖堂での演奏（ミサ・ブレヴィス初演など）、フィレンツェ：サンタ・トリニータ教会での演奏を行う。ミサ・ブレヴィスはローマ法王への献呈という栄誉を与えられ、バチカンにて法王（当日ご不在）のご名代・コマストリ枢機卿に楽譜をお預けし、フランシスコ法王にお渡しいただきました。

# 主なコンサートの記録（2009年～2017年3月末現在）

レクイエム・プロジェクト神戸2016
～東日本大震災から5年、追悼の思いとともに～
2016年 1/17 SUN
今年2年ぶの開催(午後1時30分開演)
会 場：神戸市立湊川荘ホール(マザーホール)
入場料：一般 前売：1,500円 (当日 2,000円)
高校生以下：1,000円 (観覧、当日共)
プログラム
Ave Maria ～雨に寄す～(国語版歌)
スターバト・マーテル ～悲しみの聖母～(国語版歌)
レクイエム ～あの日も、あなたも忘れない～

長崎市被爆70周年記念事業、長崎県合唱連盟 後援
レクイエム・プロジェクト長崎2015
～追悼、そして平和と希望への願いを込めて～
ground zero
9/22 火・祝
会場：浦上天主堂

レクイエム・プロジェクト北いわて2015
～東日本大震災の犠牲となった方々の追悼と、未来への希望、願いを込めて～
2015年 9/6 SUN
会 場：アンパーホール 大ホール
入場料：一般 500円

～戦後70年、追悼と希望、そして平和への思いを未来へ～
REQUIEM PROJECT
TOKYO 2015
レクイエム・プロジェクト東京 2015
Program
スターバト・マーテル
ふるさとの歌、いのちの歌
レクイエム
2015. 8.30 SUN
開演 14:00
ティアラこうとう 大ホール
全席自由 2,000円

佐用いのりのとき合唱団
第3回定期演奏会
～ふるさとへの思い～
2015年 8/9 SUN
会 場：スピカホール
入場料：無料

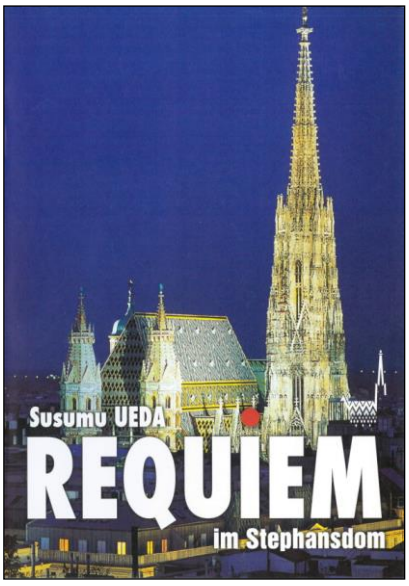
レクイエム・プロジェクト気仙沼2015
～ 加川広重画「空」を観る被災地」と共に ～
会場：気仙沼市民会館 大ホール
8/6 木

～追悼、そして平和と希望への願いを込めて～
レクイエム・プロジェクト広島2015
2015年 7/26 日
会場：かりっぱ福町教会 世界平和記念聖堂

～東日本大震災の犠牲となった方々の追悼と未来への希望、願いを込めて～
レクイエム・プロジェクト仙台2015
2015年 7/12 日
会場：日立システムホール仙台 コンサートホール

REQUIEM PROJECT
OKINAWA2015
レクイエムプロジェクト
沖縄2015 ～いのちをみつめて～
2015年 6/14 SUN
会 場：浦添市てだこホール・大ホール
入場料：前売一般 2,000円 当日券 2500円

レクイエム・プロジェクト神戸2015
～あれから20年、追悼と希望、そして平和への思いを新たに～
1995.01.17
05:46a.m.
2015年1月16日(金)
開演：夜7時 開場：午後6時20分
2015年1月17日(土)
開演：昼3時 開場：午後1時20分
会 場：神戸新聞 松方ホール


Susumu UEDA
REQUIEM
im Stephansdom

～東日本大震災の惨状となった方々の追悼と未来への希望、願いを込めて～
レクイエム・プロジェクト仙台2014
2014年 9/21(日)
会場：日立システムズホール仙台・コンサートホール

～追悼、そして平和と希望への願いを込めて～
レクイエム・プロジェクト広島2014
2014年 9/14(日)
会場：はつかいち文化ホール さくらぴあ大ホール

長崎県合唱連盟 後援
レクイエム・プロジェクト長崎2014
～追悼、そして平和と希望への願いを込めて～
2014年 8/17(日)
会場：長崎ブリックホール・大ホール

REQUIEM PROJECT in SAYOCHO
レクイエム・プロジェクト 佐用町2014
8/3
ケー・エフ・シーはレクイエム・プロジェクトを応援します！
株式会社 ケー・エフ・シー
http://www.kfc-net.co.jp

レクイエム・プロジェクト北いわて2014
～東日本大震災の惨状となった方々の追悼と、未来への希望、願いを込めて～
2014年 7/27(日)
会場：野田村体育館
入場料：金 判
ケー・エフ・シーはレクイエム・プロジェクトを応援します！
株式会社 ケー・エフ・シー
http://www.kfc-net.co.jp

～ 潮騒にとどく鎮魂の歌、天までとどく未来と平和の祈り ～
レクイエム・プロジェクト南相馬2014
2014年 4/6(日)
会場：南相馬市民文化会館

第10回追悼コンサート
いのりのとき
～あれから19年、そしてあの日から3年・・・～
2014年 1/17 FRI
会 場：神戸新聞 松方ホール
入場料：金 判（前・当日券）
ケー・エフ・シーはレクイエム・プロジェクトを応援します！
株式会社 ケー・エフ・シー
http://www.kfc-net.co.jp

〜東日本大震災の犠牲となった方々の追悼と未来への希望、願いを込めて〜
レクイエム・プロジェクト仙台2013
2013年11/16(土)
会場：日立システムズホール仙台・コンサートホール

〜追悼、そして平和と希望への願いを込めて〜
レクイエム・プロジェクト広島2013
原爆や戦争、そして東日本大震災をはじめとする自然災害で亡くなられた多くの尊い命への追悼の思い、希望に満ちた未来と平和への願いを、音楽を通して被爆ピアノとともに広島から発信します。
2013年9/22(日)
会場：西区民文化センター・ホール

REQUIEM PROJECT OKINAWA2013
レクイエム・プロジェクト
沖縄2013
2013年9/1(日)
ケー・エフ・シーはレクイエム・プロジェクトを応援します！
株式会社ケー・エフ・シー
http://www.kfc-net.co.jp

〜追悼、そして平和と希望への願いを込めて〜
レクイエム・プロジェクト長崎2013
原爆や戦争、そして東日本大震災をはじめとする自然災害で亡くなられた多くの尊い命への追悼の思い、希望に満ちた未来と平和への願いを、音楽を通して長崎から発信します。
2013年8/11(日)
会場：長崎ブリックホール・大ホール

第9回追悼コンサート
いのりのとき
〜南相馬の合唱団を迎えて〜
2013年1/17THU
会場：神戸新聞 松方ホール

REQUIEM PROJECT OKINAWA2012
レクイエム・プロジェクト
沖縄2012
2012年6/17(日)

東日本大震災
追悼チャリティーコンサート
CHARITY CONCERT
for
mourning and stricken area support in JAPAN
April 1 (Sun), 2012 / 19:30
at Prague Rudolfinum
- Admission free of charge –
入場無料
<実施主体>レクイエム・プロジェクト実行委員会
<協力>プラハ室内フィルハーモニー
<後援>在チェコ日本国大使館
Velvyslanectví Japonska v ČR
在チェコ日本国大使館
<Program>
●J.S.Bach : Air from the 3. Suite BWV1068
●W.A.Mozart : Symphony No.40 g-moll,KV550
●Susumu UEDA : Requiem ~Never forget the day and you~
上田益:レクイエム〜あの日を、あなたを忘れない〜
<Conductor>
Koji KAWAMOTO 川本貢司
Susumu UEDA 上田 益
<Orchestra>
Prague Philharmonia - Pražská komorní filharmonie -
<Solist>
<Chorus>
The Kühn Choir of Prague
KOBE INORINOTOKI Choir, TOKYO INORINOTOKI Choir

震災復興
阪神・淡路大震災の被災地神戸の合唱団を迎えて
レクイエムをあなたと
雲と光のコンサート
2012 3.16 fri

PROGRAM 1 〜追悼〜
芸術集団ラクリモ座
レクイエムプロジェクト
東日本大震災チャリティーコンサート
2012.3.11(日)
会場：札幌時計台ホール
PROGRAM 2 〜元気になる瞬間〜

第8回追悼コンサート
いのりのとき
～あの日を、あなたを忘れない～
東日本大震災・被災地への思い
2012年 1/17 tue
会 場：神戸新聞 松方ホール
入場料：無料（要・整理券）

REQUIEM PROJECT
TOKYO2011
レクイエム・プロジェクト東京 2011
～東日本大震災・被災地への思い、
詩人・和合亮一さんを迎えて～
心を寄せる時 "失われたいのち"と "被災地への思い"は
重なり合い、歌になり、励ましとなって 未来へつながる！
12名のプロ声楽家と実大生、音大生など、
総勢約45名の合唱団が
被災地への思いを歌います。
2011年 10/29 sat
会場：TOKYO FM ホール
TOKYO FM HALL
Confetti

REQUIEM PROJECT
in SAYOCHO
レクイエム・プロジェクト in 佐用町
審査災害から2年。
大切な"いのち"、そして"ふるさと"への
思いを歌に込めて！
2011年 8/28 sun
会 場：さよう文化情報センター（ふりあえたホール）
入場料：無料（要・整理券）

REQUIEM PROJECT
OKINAWA2011
レクイエム・プロジェクト
沖縄2011～いのちを見つめて～
心を寄せ合うとき、失われた"いのち"への思いは、
重なり合い、励まし、勇気となり、
そして未来へつながる！
2011年 6/12 sun
会 場：パレット市民劇場
入場料：2,000円（前売り・当日共）

神戸、佐用から
被災地支援
ルミナリエ演出音楽の作曲家ら
追悼と励まし、音に託す
19、25日 慈善コンサート開催
神戸新聞 2011.3.18

第7回追悼コンサート
いのりのとき
～あの日を、あなたを忘れない～
2011年 1/17 mon
会 場：神戸新聞 松方ホール
入場料：無料（要・整理券）

レクイエム・プロジェクト
TOKYO 2010 ～いのちを見つめて～
神戸初演で2000人の聴衆が涙した、心揺さぶる感動のレクイエム！
REQUIEM PROJECT
TOKYO 2010
2010年11月7日（日）
午後3時開演（2時30分開場）
会場：浜離宮朝日ホール
入場料：5,000円（全自由席）

第6回追悼コンサート
いのりのとき
～レクイエム・プロジェクト vol.2～
阪神・淡路大震災から
15年目となる年末1月17日、
被災地、神戸で新しい
レクイエムが誕生します。
2010年 1/17 sun
会 場：神戸文化ホール 大ホール
入場料：無料（要・整理券）

第5回追悼コンサート
いのりのとき
～レクイエム・プロジェクト vol.1～
2009 1/17 sat
会 場：兵庫県立美術館 ギャラリー棚 ギャラリー
入場料：無料（要・整理券）・定員500名

# 活動関連記事（抜粋）など

神戸新聞

2008年12月10日

## 人

### 上田　益（うえだ　すすむ）さん

**神戸ルミナリエの音楽を担当して10年目を迎えた作曲家**

「流れている音楽を聴いて、自分には見えない光を想像できたように感じた。会場に来て良かった」

神戸ルミナリエの演出音楽を担当して二年目、新聞でこんな投稿があったと知った。「心から作曲をしていて良かったと思った」

ルミナリエの音楽は、十年で七十曲ほど作った。「音符を書き過ぎないよう気を付けている」。できるだけシンプルに。「書けば書くほど思いが伝わらない」。聴き手の想像力が潜り込む〝余白〟を残す。

大阪府豊中市に生まれ、枚方市で育った。幼稚園から音楽に親しんだが「ピアノを習う男子はほとんどいなかった」。京都市立芸術大音楽学部で学び、三年間の東京生活を経て関西を拠点に作曲活動を始めた。

阪神・淡路大震災の発生日は、東京に引っ越した直後だった。「自分だけが難を逃れた後ろめたさがあった」。学生のころからよく遊び、あこがれだった神戸の街。テレビで惨状を見て「けが人を治すこともおなかを満たすこともできない自分の音楽なんて、こんな状況に何の役に立つのか」と悩んだ。その四年後、ルミナリエの仕事を受けた。

会場の写真を見て、教会の回廊や聖堂を連想した。曲作りは、祈りを音に込める作業だった。作詞も手掛けた。追悼と、未来への希望を強く意識した。今年は十年目。「一番明るく前向きに作った」。二〇〇五年に始めた追悼コンサートは今回初めて一般から合唱団を募った。

東京都世田谷区で妻と暮らす。五十二歳。（霍見真一郎）

朝日新聞

2009年1月16日

# レクイエム歌い続ける

## 80人、被災者自ら発信

追悼コンサート「いのりのとき」に向けて練習する合唱団のメンバーたち＝神戸市灘区、西畑志朗撮影

阪神大震災から14年を迎える17日、被災者ら約80人が神戸市内でレクイエム（鎮魂歌）を響かせる。歳月を重ねてもなお深まる悲しみと向き合い、語り継いでいきたい―。そんな祈りを込めた歌声が「震災の日」の街を包む。

**♪祈りは歌になる　歌は、希望になる**

05年秋、豊さんは咽頭がんの手術で声がほとんど出なくなった。それでも、角辻さんと翌年の追悼コンサートで歌った。「あの日のことを伝えたい」と言い続けていた豊さん。角辻さんは「夫の分まで歌い継ぎます」と誓う。

レクイエムを作った上田さんは震災の日に合わせたコンサートを過去4回、神戸で開いてきた。14年を迎え、「震災の記憶を被災者が発信してほしい」と参加者を公募し、「祈りの時」や「あの日の悲しみを忘れない」などの作曲を手がけた。17日のコンサートでは、中学1年生から79歳までの男女約80人がこれらの曲をラテン語で歌う。

吉田多真美さん（46）＝神戸市須磨区＝は長女の友絵さん（15）と参加する。震災直後に椎間板ヘルニアが再発し、約2年前にはがんの疑いがあると診断された。引っ込み思案だが歌が好きな友絵さんと一緒に過ごす時間を増やしたいと思った。

昨年7月に始まったコンサートの練習で、参加者が「震災の時、もっとできることがなかったのか」と語ったのを聞き、苦しいのは自分だけでないと気づいた。

**♪涙の数だけ新しい星が生まれる　涙の意味を忘れない**

（あの日の悲しみを忘れない）

吉田さんは「人の痛みを聞き、少しずつ自分の痛みに向き合えるようになった。多くの人の希望になるように歌いたい」と語る。（宋光祐）

**♪こころを寄せ合う時　涙は祈りになる**

同市灘区で10日夜、被災者たちが作曲家上田益さん（52）のレクイエム「祈りの時」を合唱していた。そのなかに、1年半前に夫・豊さん（享年69）を亡くした角辻克子さん（70）＝兵庫県芦屋市＝がいた。

震災で角辻さんと精神科医だった豊さんは親しかった近所の人を何人も失った。角辻さんは豊さんに誘われて97年から西宮市で開かれた追悼コンサートに参加し、鎮魂の思いが歌で表現できることに気づいた。

毎日新聞 2009年1月17日

# 守られた命 感謝

追悼コンサートに向け練習する三浦有里恵さん（前列左）と卓也君（同右）＝神戸市灘区で10日、小松雄介撮影

## 生まれてきて良かった

### 神戸の13歳 きょう合唱

阪神大震災時、母のおなかにいた赤ちゃんが17日、追悼コンサートの舞台に立つ。神戸市中央区の市立箕井台中学1年、三浦卓也君(13)。同区の兵庫県立美術館である「第5回追悼コンサート いのりのとき～レクイエム・プロジェクトvol.1 .1～」に母有里恵さん(46)と参加する。有里恵さんから学んだ「命の大切さ」を歌声に込めて――。【金志尚】

コンサートは「神戸ルミナリエ」の音楽を担当する作曲家の上田益さんが手がけ、05年から毎年開催している。今回は神戸市民を中心に約80人の合唱団を結成。月2回の練習を重ねオリジナルの追悼曲などを披露する。

有里恵さんは震災時、妊娠7カ月。けがはなかったが、自宅は全壊した。「赤ちゃんに何かあったら……」。余震に不安は尽きず、ベビー用品を買いそろえることもままならない。水が使えないため、大きなおなかで銭湯に行った。

出産は4月12日。約2800グラムの元気な赤ちゃん。産声に心配がすべて吹き飛んだ。一粒種の成長と共に神戸の復興も進んだ。

卓也君は小学生になったころ、有里恵さんから震災の話を聞いた。両親が被災したこと、自分はおなかにいたこと……。怖かった。同時に「生まれてきて良かった」と思った。

追悼コンサートは有里恵さんが誘った。「命があることは何物にも代えられない。そういうことを学んでくれたら」。卓也君も「歌を通じて少しでも被災者の気持ちに近付けたら」と応じた。「被災者への励ましを、語りかけるように歌いたい」。そんな思いを胸に、14年目のあの日を迎える。

◆神戸・活動初年度の練習風景（2008年11月22日）

産経新聞 2010年12月2日

# 神戸に響け レクイエム

阪神大震災の犠牲者の鎮魂を願う光の祭典「神戸ルミナリエ」が今年も神戸市中央区の東遊園地周辺で3日から始まる。15回目となる今回は初めて、被災者らでつくる市民合唱団「いのりのとき合唱団」が歌うオリジナルの鎮魂歌が会場に流される。94人の団員それぞれが、震災から抱えてきたさまざまな思い。その思いを乗せた歌が、〝光の宝石箱〟ルミナリエの灯とともに、やさしく人々の心を癒やす。

震災から15年

### 歌で伝える

「お母さんから、震災の話を聞く中で、『生まれてきてよかった』って言われたんです。合唱団に参加することで、震災のことをもっときちんと考えたかった」と話すのは神戸市中央区の中学2年、三浦卓也君(14)。震災が発生した平成7年の4月に生まれた。〝震災を知らない世代〟だ。

一人息子の卓也君をやさしく見守る母、友里恵さん(47)も団のメンバー。震災のショックからか、卓也君は逆子の状態で生まれてきたという。「待ち望んで、待ち望んで、ようやく授かった命。何としても産みたかった。震災からの年月が、そのまま息子の成長の証しなんです」

来年1月の追悼コンサートに向けて練習に余念のない合唱「いのりのとき合唱団」＝神戸市灘区区（彦野公太朗撮影）

合唱団は「被災者が歌で震災を伝えることが大切」という、合唱曲の作曲家、上田益氏らの思いから公募され、10代～80代の94人で昨年6月に結成された。震災発生から丸15年となる来年1月に追悼コンサートを行うため、毎月1、2回の熱のこもった練習を続けている。ルミナリエ会場で流される曲（6曲）のうち、3曲は合唱団の曲だ。

## 被災者らの合唱団 ルミナリエに3曲

### 心を癒やす

合唱団のメンバーは大半が被災経験者だ。被災後、水くみの激務から椎間板ヘルニアを患い、寝たきりの日々を送った神戸市須磨区の吉田多真美さん(47)は「肉親を失って、もっとつらい思いをした人もいるはず。『自分はまだまし』と言い聞かせて、がまんしていた」と当時を振り返る。

吉田さんは被災経験を通して、自分と同じようにけがをしながら、つらさを隠して生きてきた〝同志〟とも出会えたという。「一人じゃないと知って、初めてつらさを打ち明けられた」。そう語る吉田さん(47)が寄り添う。「合唱団は震災を次代に語り継げるい機会なんです」

### 自分と向き合う

団員だけが「被災者」なのではない。指導などでかかわる人たちも、つらい思いを抱えている。

「住んでいたマンションの下のフロアは押しつぶされてしまいました。自分の『下』で、何人もの方が亡くなられたんです」

主に発声練習の指導を行う北爪かおりさん(29)は東灘区の自宅マンション（3階）で被災したときは中学2年生だった。2階に住んでいた幼なじみは、家族の大半を亡くした。

多感な思春期に受けた心の傷は大きく、心の奥底に感情を閉じこめて、その後の日々を過ごした。大学時代に歌と出合い、少しずつ感情と向き合うことで震災体験を整理できるようになったという。

「合唱団の中には、今まで震災と向き合えなかった人もいる。自分のペースでいいんです。歌を通じて、自分の心と対話してほしい」と話す。

色とりどりの輝きを放つルミナリエ。6つあるエリアごとにひとつの楽曲が流れるが、終着点の東遊園地では合唱団が歌う「未来に向かって」という希望をイメージした明るい旋律の音楽が流れるという。北爪さんは「震災から頑張って生きている人たちがいる。感じ方は人それぞれだけど、生の実感や命の大切さを少しでも感じてほしい」と願っている。

読売新聞 2010年10月18日

# 能舞で阪神大震災 鎮魂

## 辰巳満次郎が新作「光明」

### 来月7日、東京・築地

阪神・淡路大震災の犠牲者を悼むコンサート「レクイエム・プロジェクト TOKYO 2010」が11月7日午後3時から、東京・築地の浜離宮朝日ホールで開かれ、能楽師の辰巳満次郎が創作した新作の能舞「光明」を上演する。

（塩崎淳一郎）

満次郎は神戸市に生まれ、宝生流のシテ方として東京を本拠地に活動中の50歳。新作能の上演に積極的で海外公演の経験も多い。

震災で亡くなった人を追悼する「レクイエム・プロジェクト」のコンサートを昨年から始めた作曲家の上田益は昨年末、能による公演への参加を満次郎に依頼した。満次郎は本格的な能とは異なる簡素な形で、能楽の要素を取り入れた「能舞」での参加を快諾。詞章や節付け（作曲）、型付け（振り付け）を手がけた新作「光明」を完成させた。

上田は「神戸で開いたコンサートでは過去2回、私が作曲したラテン語詞での鎮魂歌などを、コーラスやオーケストラで演奏してきた。今回、友人を介して辰巳さんを知り、より多様な表現を求めて、能楽の力に期待した」と振り返る。

満次郎は「自らの出生地で、友人や親類も住む神戸の震災は、他人事ではなかった。亡くなった方、心に傷を受けた方に何かの役に立ちたいとの思いがあり、関西出身の能楽師に参加を募った」と話す。

「光明」のシテ（主人公）は女（山内崇生）で、大震災で世を去った恋しき人の死を闇の中で悲しんでいる。その後、15年にわたって苦しみ、心が千々に乱れ、激しく舞う。だが、希望を持って生きることこそ恋人の意思であると知り、最後は喜びを心に抱いて舞い終える。25分ほどの作品で、囃子方や地謡も参加する。途中でコーラスやバイオリンなどの弦楽器も交じり合う。

「能は、外から見て分かりやすい動きではなく、内面の悲しみや喜びといった心の動きを表現する深みがある。それが、死者を悼むレクイエムと調和する」と満次郎。上田は「異なるジャンルの芸術が参加することで、追悼と希望、という公演の目的がより明確になる」と、手応えを語る。

上田は「来年の神戸での公演でも『光明』を上演する予定。未来への希望を持ち続けるため、今後も辰巳さんらの協力を仰ぎ、レクイエム・プロジェクトを継続したい」と、強い意欲でコンサートに臨む。☎0120・240・540。

「生と死というテーマは、能楽でも重要なテーマ。レクイエム・プロジェクトに能が役立てれば」と語る辰巳満次郎（左）と、プロジェクトを推進する作曲家の上田益＝永尾泰史撮影

統芸

神戸新聞 2010年11月3日

（第3種郵便物認可）　神戸新

# ルミナリエに歌声響く

## 震災犠牲者の追悼、希望を込め

### 神戸松蔭女子学院大

### 声楽家4人 コーラス6曲を録音

阪神・淡路大震災の犠牲者の鎮魂と復興を願う光の彫刻「神戸ルミナリエ」の会場で流れるコーラスが2日、神戸松蔭女子学院大学（灘区篠原伯母野山町1）で録音された。県内の声楽家4人でつくるアカペラグループ「ヴォックス・フマーナ」が、追悼の思いや未来への希望を歌い上げた。

（大月美佳）

神戸ルミナリエの会場で流れるコーラスを収録する声楽家ら＝神戸松蔭女子学院大学

ルミナリエのコーラスは東京都の作曲家上田益さん（54）が作詞・作曲を手掛け、1999年から毎年、新作を書き下ろしている。

今年の神戸ルミナリエは12月2～13日に開催される。会場では昨年に続き、被災者でつくる「神戸いのりのとき合唱団」の歌も一緒に流される。

同大チャペルはヨーロッパの聖堂になぞらえた構造で残響時間が長く、声の響き方が曲のイメージに合うため、毎年、録音場所に選ばれている。この日は、約3時間かけて計6曲を収録。「悲しみが、いつか通り過ぎ、希望の扉が開き始めますように」というラテン語の歌詞に思いを乗せ、荘厳な歌声を響かせた。

「痛みを抱える人が、苦難を乗り越え前向きに生きるための歌にした」と上田さん。メンバーの耕田芳花さん（45＝灘区）は「歌詞に『ルクス（光）』『ステラ（星）』という言葉が使われているから、光に向かい、希望を込めて、語りかけるように歌った。被災者だけでなく、いろんな立場の人に伝われば」と話していた。

2011年3月11日　午後2時46分

# 東日本大震災　発生

読売新聞　2011年3月20日

## 被災者へ追悼と励まし

## 佐用の合唱団 慈善音楽会

被災地への追悼の思いを込めて熱唱する合唱団（佐用町佐用で）

東日本巨大地震の被災者を支援しようと、佐用町の町民らでつくる「レクイエム・プロジェクト佐用町合唱団」が19日、同町佐用のさよう文化情報センターでチャリティーコンサートを開き、義援金を募った。2009年8月の佐用水害をきっかけに結成した合唱団で、今回が初舞台。自らも水害を経験したメンバーたちは、被災地への追悼と励ましの思いを込めて歌い上げていた。

### 水害きっかけに結成、初舞台

合唱団は、災害などの犠牲者を歌で追悼しようと、「神戸ルミナリエ」の聖歌を手がける作曲家の上田益さん(54)が提唱する「レクイエム・プロジェクト」に呼応して10年11月、経験者を中心に約40人で結成。今年8月に町内で開く初のコンサートを目指して、月2回の練習を重ねてきた。

地震発生から3日後の14日、上田さんがメンバー全員に電話で、チャリティーコンサートを緊急に開くことを提案。メンバーたちは「水害を思い出して胸が痛む。ぜひ支援したい」などと賛同したという。

この日、メンバーたちは、約60人の来場者が見守る中、上田さんが阪神大震災から15年の節目に作詞作曲した「レクイエム～あの日を、あなたを忘れない～」を熱唱。透明感のある声で「涙の意味を忘れない」「あの日の悲しみを忘れない」などを意味するラテン語の歌を響かせると、来場者は一緒に口ずさんだり、涙ぐんだりしていた。

メンバーで、水害で自宅が大規模半壊した同町佐用、主婦溝口真知子さん(59)は「被災者に、『応援しています』という気持ちを伝えたかった」と話し、上田さんは「被災者を元気づけようという気持ちで合唱団が一つになれた」と喜んでいた。

会場には募金箱が置かれ、14万8000円が寄せられた。義援金は町を通じて被災地へ送られる。募金した同町西河内、主婦押田美代子さん(63)は「歌い手の気持ちが伝わってきて、私も被災者のために何かしたいと思った」と話していた。

神戸新聞　2011年3月18日

## 神戸、佐用から被災地支援

### ルミナリエ演出音楽の作曲家ら

## 追悼と励まし、音に託す

今年1月17日に神戸新聞松方ホールで開かれた追悼コンサート

東日本大震災の被災地を支援するチャリティーコンサートが19、25日、県西・北部豪雨で大きな被害を受けた佐用地神戸で開かれる。両地域で災害を経験した人たちでつくる合唱団が出演。阪神・淡路大震災15年の節目に生まれた鎮魂歌「レクイエム～あの日を、あなたを忘れない」などを披露する。

神戸ルミナリエ会場で流される音楽を1999年から手がけている作曲家上田益（東京都在住）が「災害被災地から行動を起こしたい」と開催を呼び掛けた。上田が代表を務める「レクイエムプロジェクト実行委員会」が主催する。

上田は2005年から1月17日に神戸で無料の追悼コンサートを続けるほか、08年からは地域で合唱団を組織し、上田が作詞・作曲した「レクイエム」を歌う活動を開始。10年には東京や佐用で合唱団が誕生した。

公演当日は上田が指揮し、それぞれの地域の合唱団が出演。佐用公演には神戸の合唱団有志も加わる。「レクイエム」のほか「早春賦」「おぼろ月夜」「ふるさと」などの日本歌曲も披露する。上田は「犠牲者の追悼と、被災者や救援活動に当たる人たちへの励ましを込めて演奏したい」と話している。

### 19、25日　慈善コンサート開催

会場では義援金を募り、佐用町と神戸新聞社を通じて被災地へ届ける。また神戸会場では被災地への激励メッセージを開演前に募集し、一部をステージや本紙紙面で紹介するほか、友好紙の河北新報（本社・仙台市）にも掲載される予定。

佐用公演は19日午後2時半から、さよう文化情報センター☎0790・82・3336。神戸公演（神戸新聞社など共催）は25日午後7時から神戸ハーバーランドの神戸新聞松方ホール☎078・362・7191。いずれも無料。（藤嶋　亨）

神戸新聞2011年3月20日

## 被災地に届け鎮魂歌

東日本大震災

### 佐用と神戸の合唱団　合同で公演

佐用

阪神・淡路大震災から15年の節目に生まれた鎮魂歌「レクイエム～あの日を、あなたを忘れない」を広めている佐用町と神戸市の合唱団が19日、東日本大震災の義援金を集めようと、同町佐用、さよう文化情報センターでチャリティーコンサートを開いた。2009年の県西・北部豪雨災害と、東日本大震災の被災地をつなぐ祈りの歌声が響き、訪れた約50人の住民らに共感の輪が広がった。（小西隆久）

### 義援金を募る

両合唱団は、神戸ルミナリエの鎮魂歌を手がけた作曲家上田益さん(54)＝東京都＝が、「被災地の気持ちがよく分かる私たちにできることをしよう」と急きょ、チャリティーコンサートの開催を決定。神戸からも有志が参加、同町の合唱団は昨年11月に決定、冒頭、全員で震災犠牲者に黙とうを捧げた。

司会者が新聞記事から集めた被災地の情景や被災者の声を朗読すると、すすり泣く声が響いた。レクイエムの合唱では、荘厳で穏やかな旋律に、ハンカチで目頭を押さえる人もいた。

合唱に参加した同町山脇、主婦衣本有紀子さん(53)は「今回の災害は人ごとと思えない。何もできないけど、思いだけでも届けたいと思って歌った」と話した。

コンサートは26日に神戸でも開かれ、集まった義援金は佐用町などを通じて被災地に送られる。

荘厳な調べのレクイエムを歌う合唱団＝佐用町佐用、さよう文化情報センター

読売新聞 2011年8月29日

（第3種郵便物認可） 2011年（平成23年）8月29日（月曜日） 讀賣新聞

# 豪雨犠牲者へ鎮魂の歌声

## 初のコンサート「忘れぬため歌い続ける」

**佐用町合唱団**

2009年8月に佐用町を襲った豪雨災害で被災した住民らでつくる佐用町合唱団などが28日、同町佐用のおりひめ文化ホールで初めての本格的なコンサートを開いた。災害や戦争の犠牲者を歌で追悼する全国規模の取り組み「レクイエム・プロジェクト」の一環で、この日は、豪雨で亡くなった人への思いなどをつづった合唱曲「大切なふるさと」も初披露。訪れた町民ら約450人は、ホールに響く優しい歌声に聞き入っていた。（桑原卓志）

レクイエム・プロジェクトは、「神戸ルミナリエ」の聖歌を手がける東京都世田谷区の作曲家上田益さん(55)が08年7月から提唱しており、東京都や沖縄県で合唱団が誕生した。

同町でも上田さんらの呼びかけに呼応して、豪雨災害から1年余りが過ぎた10年11月に町民ら約40人で合唱団を結成し、月2回の練習を重ねてきた。東日本大震災の発生直後の3月19日には、被災地への義援金を募るため、チャリティーのミニコンサートを臨時に開いたが、本格的な公演は今回が初めて。

コンサートは午後2時に開演し、「ふるさと」や「赤とんぼ」など17曲を披露。上田さんが作詞作曲した「大切なふるさと」では、合唱団に加えて町内の小中学生約30人も舞台に上がった。ピアノの伴奏で「今年も夏が来てひまわりの花が咲く」「いつまでもあなたの笑顔忘れない」「つらい思い出をそっと抱きしめ未来へ向かおう」などと歌い上げると、流れる涙をハンカチで拭う来場者もいた。

会場では、震災で被災した岩手県野田村を支援するための募金箱が置かれ、約13万円が集まった。同村でも合唱団が結成される予定で、上田さんが募金を元手に電子ピアノを贈るという。

水害で友人の女性を亡くしたという合唱団メンバーの碓井多美江さん(59)は「天国の彼女が笑顔になってくれるよう願いながら歌った。災害を忘れないためにも歌い続けたい」と話し、自宅が半壊した同町佐用、無職古市せつ子さん(78)は「災害の恐怖は今でも頭に残っているけれど、今日は優しい歌声に癒やされた」と笑顔を見せていた。

「大切なふるさと」を歌う佐用町合唱団と小中学生ら（佐用町のおりひめ文化ホールで）

読売新聞

2012年3月29日

# 国境超え「東日本」激励

## 1日 プラハで公演

## 「阪神」被災者らの合唱団

## 東北支援の募金箱置く

阪神大震災の被災者らでつくる「神戸いのりのとき合唱団」のメンバー14人が4月1日、チェコ共和国の首都・プラハで初めての海外コンサートを開く。当日は、阪神大震災をきっかけに生まれた災害や戦争の犠牲者の鎮魂歌を披露し、東日本大震災の被災地への支援を呼びかける予定で、メンバーは「東北への思いを国境を超えて共有したい」と話している。（古市豪）

合唱団は2008年6月、「神戸ルミナリエ」の聖歌を手掛ける作曲家の上田益さん(55)が、神戸市を中心に公募したメンバーらで結成された。上田さんが被災者から聞き取った話を基に鎮魂歌10曲を作り、現在は75人のメンバーが、09年から毎年1月17日に開くコンサートで披露している。

合唱団を作ったのは「被災体験を歌にすることで、みんなで痛みを共有し、癒やし合えるから」と上田さん。10年からは「レクイエム・プロジェクト」と名付けて神戸以外でも合唱団創設を提唱しており、09年の水害で20人が犠牲になった佐用町や、戦争で空襲があった東京で合唱団が誕生。東日本大震災の被災地でも岩手、宮城、福島3県の音楽家らと計画を進めている。

音楽の街・プラハでのコンサートは、現地の管弦楽団で活動する上田さんの知人からの誘いがきっかけ。地元のプロオーケストラや合唱団と共演し、会場となるホールには東北支援のための募金箱を置く。

創設当初から参加している神戸市東灘区の団体職員塚本さとみさん(29)は小学6年の時に阪神大震災を経験。避難所となっていた体育館で行われた小学校の卒業式では、各地に避難した級友らに別れの言葉も言えなかったといい、「東北でもあの時の自分のように寂しい思いをしている子どもたちがいるのでは」と案じる。

阪神大震災で友人を亡くした同市長田区、主婦青山真理子さん(54)は「周囲には身内を失うなどもっと深い悲しみを抱えている人がいて苦しいと言えなかった。同じような東北の人たちを励ます思いを歌声に込めたい」と意気込む。

上田さんは「プラハの人たちの義援金が、一人でも多くの被災者が前を向くきっかけになればうれしい」と話している。

神戸いのりのとき合唱団へのメンバー加入などの問い合わせなどはメールで。アドレスはinori@music.nifty.jp

プラハでのコンサートに向けて練習する「神戸いのりのとき合唱団」のメンバーと上田さん（左、神戸市灘区で）

# ドヴォルザークホールに響いた哀悼と希望

## 日本人作曲家による震災追悼の《レクイエム》

さる4月1日、プラハ・芸術家の家ドヴォルザークホールで、日本人作曲家・上田益の《レクイエム～あの日を、あなたを忘れない～》が同地初演された（プラハ・フィル／作曲者指揮）。上田は京都芸大出身。この作品は、もとは阪神大震災15年を機に、犠牲者を悼み、遺された者たちの悲しみを救済するために書かれたもの。あえて現代的な語法を避け、またテーマを普遍とすべく、レクイエムの典礼文にオリジナル詞を加えたラテン語テキストによっている。

公演は東日本大震災追悼のチャリティ。被害はチェコでも大きく報道されたこともあり、犠牲者・被災者に寄せる共感は大きい。ラテン語の歌詞が海外で理解されやすいことも手伝って、リハーサル中に感極まって絶句する現地合唱団メンバーもいたという。

プラハ・フィルには被災地・宮城出身の日本人ヴィオラ奏者・沢畑絵美も在籍している。幸い家族は無事だったが、犠牲になった知人も。「震災直後から、何か自分にもできることをと考え続ける一方で、頑張るために自分の中で封じ込めていた悲しみもありました。この曲を弾いて、それが少し昇華されたように感じます」

合唱は、現地のプロ集団「キューン合唱団」に、この作品を歌うために日本から参加した有志を加えた合同編成

日本人ソリストによる柔らかいアンサンブルも高く評価された。左から、本宮廉子、北爪かおり、横町あゆみ、坂口寿一、剣谷隆彦

集客率の読みづらい無料公演ながら、約1000席の会場はほぼ満席。明日への希望で結ばれるこの新しいレクイエムを、スタンディング・オベーションで歓迎した。なお、公演に先立ち行われた同演奏者による録音がCD化予定。

問い合わせは、requiem@music.nifty.jp

205

↑月刊「音楽の友」誌 2012年7月号に、プラハ・ドヴォルザークホールで開催した「東日本大震災・追悼チャリティーコンサートのレビューが掲載されました。このコンサートには、神戸と東京から声楽ソリスト（プロジェクトの指導者でもある）5人と合唱団有志17人が参加し、地元のキューン合唱団、そしてプロ・オーケストラのプラハ・フィルと共演しました。

福島民報 2012年11月20日

南相馬 ゆめはっと合唱団定期演奏会

# 復興の願い歌に込め

定期演奏会でハーモニーを披露するゆめはっと合唱団

## 和合亮一さん朗読

南相馬市のゆめはっと合唱団定期演奏会は十八日、同市原町区の市民文化会館大ホールで開かれた。鎮魂と復興をうたう詩人和合亮一さんの詩に上田益さんが曲をつけた「黙礼」を披露。藤沢正孝団長は「古里の賛歌と災害からの復興がテーマ」とあいさつした。

市文化振興事業団の共催、市や福島民報社などの後援。混声合唱組曲「黙礼」は「祈る」「風」「命よ」「あなた」「生きる」の連作。鎮魂と命を見つめ「生きよ 命よ」と励ます詩で、約六十人の合唱団が上田さんのタクトで歌い上げ、大きな拍手を浴びた。

和合さんと上田さんの対談も開かれた。二十歳代に相馬農高に六年間勤務した和合さんは「原町は第二の故郷。〝南相馬を見捨てないで〟という避難者の声で震災の詩を書きはじめた。生きる誇りを持ってほしい」と訴えた。

レクイエムを作曲してきた上田さんは「いい詩に出合えた。つながることが大切」と話した。和合さんが「黙礼」を朗読した。

ゆめはっと合唱団は「第九を歌う会」を中心に平成十七年に誕生した。幕開けに「南相馬市民の歌」を披露、池辺晋一郎作品から「うたごえよ高らかに」や「風の子守歌」や「ふるさとの四季」メドレーを聞かせた。アンコールにこたえ、上田さんが作詞作曲した「大切なふるさと」を歌った。

対談する和合さん（右）と上田さん

沖縄タイムス 2012年6月19日

鎮魂と希望への思いを込めた「レクイエム・プロジェクト」コンサート＝浦添市・てだこホール

# 心の傷 希望へ導く楽曲

## レクイエム・プロジェクト沖縄 支援公演

地震など自然災害や戦争で被害を受けた人々を思い、共に歩んでいこうというコンサート「レクイエム・プロジェクト沖縄2012～いのちを見つめて」（主催・同実行委員会）が17日、浦添市のてだこホールで開かれた。プロジェクトのために上田益が作曲した「レクイエム～あの日を、あなたを忘れないのほか、伊波希里作詩、上田作曲の混声合唱組曲「遠かなる海へ」など、祈りと再生への希望を込めた楽曲が披露された。

### 美しさ際立つ 上田益の詞

「レクイエム」は上田が新たに書いた歌詞と、カトリックの典礼文による10のパートで構成。善國亜由子（ソプラノ）、樋渡かおり（アルト）、城間正（テノール）、前川佳央（バス）の4人のソリストと120人の合唱団による「レクイエム・エテルナム」は、荘厳な冒頭部で傷ついた魂への追悼の思いが奏でられた後、ラテン語の宗教的な歌詞が続いた。オーケストラはレクイエム・プロジェクト・オーケストラ。

上田作詞の「出会いと別れ」では悲嘆の情感を漂わせ、ソリストの澄んだ歌声とフルートやクラリネットの伸びやかなメロディーが絡み合い「出会いと別れ それは流れ星のように」「あなたを失ってから ずいぶん時間が経ちました」の歌詞（ラテン語）の美しさが際立った。

終盤の「光の彼方へ」は、ハープと合唱で引いては寄せる波のような旋律を会場に満たし、「最終曲」未来に向かって」の苦悩を抱えながらも、しっかりと歩みを進めていくイメージにつなげ、「希望を捨てないでほしい」との力強いメッセージを伝えた。

コンサートでは、東日本大震災で倒壊した家屋の建材などを使用して作られ、各地のコンサートで使用されているパイオリンで宮良美香が「ていんさぐぬ花」を演奏、三線の島袋康志と弦楽アンサンブルも共演し、会場全体が祈りの雰囲気に包まれた。

合唱は城岳混声合唱団、うまんちゅ混声合唱団、浦添少年少女合唱団、ルーチェ合唱団、神戸と東京のいのりのとき合唱団有志。

民友 2012年(平成24年)11月20日(火曜日)

上田さんの指揮で和合さんの詩を元につくられた合唱組曲「黙礼」を合唱する団員たち

# 被災地の心 歌声に

## ゆめはっと合唱団が定演

南相馬市民文化会館を拠点に活動する「ゆめはっと合唱団」（藤沢正孝団長）の定期演奏会は18日、同館大ホールで開かれ、東日本大震災の被災地の思いを投影した福島市在住の詩人和合亮一さん作詞の合唱組曲「黙礼」を歌い上げた。同市内で勤務経験がある和合さんも、この詩の朗読を行い、被災地の心を歌う歌声と言葉が、満員のホールに響いた。

5回目で、震災後初の定期演奏会。「わが古里の賛歌と復興」をテーマに2部構成で行われ、第1部では混声合唱のための唱歌メドレー「ふるさとの四季」などを披露。第2部では、和合さんと「黙礼」を作曲した上田益さんとの対談、「黙礼」の詩の朗読と合唱が行われた。

### 和合亮一さん作詞組曲演奏 命への哀悼、礼賛表現

「黙礼」は昨年10月、東日本大震災の被災地への思いを発信する「レクイエム・プロジェクト」東京コンサートで初演された混声合唱組曲。このコンサートのため書き下ろされ、失われた命への哀悼と、古里に息づく命への礼賛が歌われている。

作曲家の上田さんは、神戸市から各地に広がった同プロジェクトの制作者。和合さんと上田さんとの対談では、和合さんが「南相馬など被災地の人たちにとって誇りが一番大事。私たちが持ち続けていかなければならない誇りが言葉、音楽、文化だと思う」と語った。

アンコールの最後には、和合さんと上田さんを交えて「ふるさと」が合唱され、古里復興への思いを伝えていた。

被災地の心を歌った自作の詩「黙礼」を朗読する和合さん

2012年11月18日、津波により団員が何名も犠牲となった南相馬市の合唱団「ゆめはっと合唱団」の定期演奏会において、2011年10月に東京で初演した和合亮一：作詩、上田益：作曲の混声合唱組曲「黙礼」が演奏されました。

このことをきっかけに、南相馬でのプロジェクト実施と、2013年1月の神戸・追悼コンサートへの「ゆめはっと合唱団」出演が決まり、東日本大震災被災地で仙台に次いで、南相馬でも活動が始まることになりました。

福島民友 2012年11月20日

読売新聞 2013年1月12日

阪神大震災 18年

# 南相馬から合唱団参加

## 17日 中央区の追悼コンサート

## 指揮者作曲の鎮魂歌が縁

阪神大震災の犠牲者を悼んで、17日に神戸市中央区の松方ホールで行われる「第9回追悼コンサート いのりのとき」に、東日本大震災の被災地・福島県南相馬市から合唱団が初参加する。コンサートで指揮をとる作曲家・上田益（すすむ）さん(56)（東京都世田谷区）が手掛けた震災の鎮魂歌が縁で実現した。上田さんは「二つの被災地が歌でつながり、息の長い支援につながれば」と話している。（藤基泰寛）

「默礼」を作曲した上田益さん

被災地から参加する「ゆめはっと合唱団」は2006年、地域住民ら約80人で結成した。震災では1人が命を落とし、助かったメンバーも大半が被災。仮設住宅での暮らしや県外への避難を余儀なくされ、散り散りになった。被災した年の秋に活動を再開したが、集まったのは40人程度だった。それでも震災ですさんだ心を紛らせられればと、週に1回、市内の文化会館に集まって練習し、活動を続けている。

昨年、メンバーの一人が、上田さんが東北の復興支援のために作曲した混声合唱組曲「默礼」のことを知り、合唱団に紹介した。優しいピアノの音色に震災前の古里の景色が思い起こされ、涙を流すメンバーもいたという。「私たちもこの曲を歌い継いでいきたい」。上田さんに声をかけ、昨秋の定期演奏会で披露した。さらに、神戸ルミナリエなどを通じて神戸の復興に携わってきた上田さんから、「神戸でも歌ってほしい」と持ち掛けられた。

### 「被災地同士 歌でつなぐ」

合唱団の藤沢正孝団長(77)は「阪神大震災の時の衝撃的な映像は今でも覚えている。神戸が立ち直ったことは私たちに勇気を与えてくれる。東北も絶対に復興するという気持ちを込めて歌いたい」と話す。

コンサートは午後7時開演。約150人が、默礼や阪神大震災の鎮魂歌「レクイエム～あの日を、あなたを忘れない～」など計21曲を披露する。入場無料。整理券が必要で、希望者は住所、氏名、電話番号、整理券の枚数（上限3枚）を明記し、実行委員会へメール（inori@music.nifty.jp）かファクス（03・6701・7174）を送る。問い合わせは、実行委（080・5181・6692）。

福島民友 2013年1月19日

真野小に約100鉢の花を届けたゆめはっと合唱団の（右から）高倉副団長、藤沢団長ら

南相馬のゆめはっと合唱団

# 真野小に花の贈り物

## 追悼演奏会出演 神戸の団体が善意

南相馬市民文化会館を拠点に活動する「ゆめはっと合唱団」（藤沢正孝団長）は28日、同市鹿島区に仮設校舎を構える真野小を訪れ、神戸市の市民団体から贈られた花を届けた。合唱団は17日に神戸市中央区で開かれた阪神大震災の追悼コンサートに出演。花はこの時、公演への感謝と復興への思いから合唱団に贈られた。色鮮やかなプリムラとビオラ約100鉢が、二つの被災地を結ぶ。

高倉紀子副団長が真野小の非常勤講師を務めることから、同校への寄贈が決まった。この日は藤沢団長と高倉副団長を含む5人のメンバーが仮設校舎を訪問し、代表児童4人に花を手渡した。松岡保夫校長は「神戸市の人の思いに感謝。子どもたちと花を植えて春を迎えたい」と喜びを語った。

追悼コンサートへの出演は、同合唱団が定期演奏会で披露した東日本大震災の鎮魂歌「默礼」（和合亮一さん＝福島市＝作詞）の作曲者上田益さん（東京）が追悼コンサートの指揮を務めた縁で実現した。合唱団からは約20人のメンバーが参加。神戸市民らと100人を超す編成を組み、「默礼」や阪神大震災の鎮魂歌「レクイエム～あの日を、あなたを忘れない～」など約20曲を歌い上げた。

神戸新聞 2013年1月15日

神戸の1・17公演

## 南相馬の合唱団出演

「そこに静かな街があった」―。東日本大震災で津波と原発事故被害に遭った福島県南相馬市をテーマにした合唱曲が17日、神戸市中央区の神戸新聞松方ホールで開かれる阪神・淡路大震災の追悼コンサート「いのりのとき」（神戸新聞社など後援）で披露される。南相馬市の合唱団からも約20人が出演。「被災地の思いを背負って歌いたい」と意気込んでいる。（黒川裕生）

# 被災地の思い歌に乗せ

神戸ルミナリエで音楽を担当する作曲家上田益さん(56)が2005年から毎年開催。08年からは天災や戦災で被害を受けた各地で歌うレクイエム・プロジェクトに取り組んでおり、今回、南相馬の「ゆめはっと合唱団」の出演につながった。

同合唱団副団長の高倉紀子さん(68)は、津波で校舎が使えなくなった同市立真野小学校の非常勤講師を務める。「震災後多くの市民が県外に避難し、児童も30人ほど減った。一見元気そうな子どもたちも、心に痛みを抱えている」と嘆く。

混声合唱組曲「默礼」は、福島市在住の詩人和合亮一さん(44)の詩に、上田さんが曲を付けた。

「静かな海の／静かな潮なぎを／聞いて暮らす／毎日があった」

和合さんは高校教諭でもあり、南相馬市は思い出深い初任地。詩は第2の故郷への思いを込めた。高倉さんは「この曲を神戸で歌えるのは感慨深い。被災地に息づく思いを共有したい」と願う。

### 「阪神・淡路と共有したい」

コンサートには南相馬市や神戸市、県西・北部豪雨災害で被害を受けた佐用町などから計約120人が出演する。阪神・淡路で友人を亡くした松本義郎さん(70)＝神戸市灘区＝は「亡くなった人、残された人の無念を歌で少しでも癒やしたい」と毎回参加。「二つの震災への思いを歌に乗せ、神戸で響かせる」と話す。

整理券の受け付けは既に終了。上田さんは「必ず毎年開催する。興味のある人はいつか聴きに来てほしい」と話している。

上田益さん（左）の指揮で練習に励む神戸の出演者ら＝神戸市灘区山田町

福島民報 2013年1月19日

南相馬の「ゆめはっと合唱団」

# 花の苗 お礼に届く

## 阪神大震災追悼コンサートに出演

## ビオラとプリムラ 真野小に贈る

真野小に花の苗を贈った団員（後列）。左端は松岡校長

南相馬市民文化会館で活動するゆめはっと合唱団は、十七日に神戸市で開かれた阪神・淡路大震災追悼コンサート「いのりのとき」に出演した。花の苗がお礼に主催の関係者から届いた。藤沢正孝団長らは二十八日、同市鹿島区の仮設校舎で学ぶ真野小にプレゼントした。

合唱団は昨年十一月の定期演奏会で、鎮魂歌「默礼」を披露した。詩を作った福島市の詩人和合亮一さん、神戸市のレクイエム・プロジェクト実行委員会代表で曲を付けた作曲家上田益さんの仲立ちで神戸出演が実現した。

神戸では有志十九人が出演した。神戸と東京の、いのりのとき合唱団らと一緒に上田さん作曲の「遥かなる海へ」や「默礼」「レクイエム」を歌った。

ゆめはっと合唱団が出演した神戸市のコンサート

花の苗贈呈式は真野小職員室で行われた。藤沢団長、高倉紀子副団長、桜井雅勝事務局長、西山美代子ソプラノパートリーダー、常任指揮者の永田恵子さんが訪れた。児童代表の遠藤航君、菅野桂太君、内田久美さん、柚原涼花さん（全員五年）に苗を手渡した。

苗はビオラ「ハーバーライト」四十鉢、プリムラ「ジュリアン」五十六鉢。咲き始め、つぼみも付けている。立ち会った松岡保夫校長は「児童が花壇に植える。ひと足早い春を感じることができそうだ」と話している。

福島民報 2014年2月18日

2014 今を生きる

阪神大震災が契機 市民参加型コンサート

レクイエム・プロジェクト

# 南相馬に響け鎮魂歌

## 4月6日、県民ら120人共演

上田さんの指揮で合唱曲を練習する参加者

東日本大震災の犠牲者に思いを寄せる市民参加型コンサート「レクイエム・プロジェクト南相馬2014」は四月六日、南相馬市民文化会館で開かれる。市民を中心とした約百二十人の合唱団がオーケストラの音色に乗せて、鎮魂の歌声を響かせる。

レクイエム・プロジェクトは大阪府出身の作曲家上田益（すすむ）さん（＝）よ）＝も披露する。

上田さんが指揮を務める。南相馬、相馬、福島、仙台、神戸の各市や東京都などの市民が歌う。オーケストラは仙台フィルハーモニー管弦楽団などからの有志で構成する。東日本大震災から三年がたつ今の思いを百字程度のメッセージとして募り、朗読する。

十六日、南相馬市原町区のひばり生涯学習センターで上田さんを迎えて合唱曲の練習が行われた。南相馬、相馬両市の約六十人が参加した。

レクイエム・プロジェクトの「ラウダーテ・ドミノム（主をたたえよ）」ーツァルトの

### チケット販売中

コンサートは南相馬市民文化会館で4月6日午後2時から開かれる。入場料は前売り1000円、当日1200円で、中学生以下は無料。チケットの購入は市民文化会館　電話0244（25）2763、または相馬市のショッピングタウン・ベガ　電話0244（36）0909へ。

メッセージの送り先は実行委員会事務局　ファクス03（6701）7174またはメールrequiem@music.nifty.jp　問い合わせは電話080（5181）6692へ。

福島民報 2014年3月30日

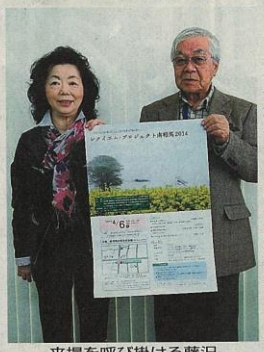
（第三種郵便物認可）

# 震災犠牲者に思い寄せて

## 6日に市民コンサート

## 和合さん作詞 黙礼など合唱

南相馬市民文化会館



来場を呼び掛ける藤沢さん（右）と高倉さん

東日本大震災の犠牲者に思いを寄せる市民参加型コンサート「レクイエム・プロジェクト南相馬2014」は六日、南相馬市民文化会館で開かれる。実行委員長の藤沢正孝さん、副実行委員長の高倉紀子さんが二十八日、福島民報社南相馬支社を訪れ「歌う人と聴く人が一つになってこそ追悼となる。ぜひ足を運んで思いをともにしてほしい」と呼び掛けた。

レクイエム・プロジェクトは大阪府出身の作曲家上田益（すすむ）さんが実行委員会の代表を務め、阪神大震災をきっかけに平成二十年に神戸市で始まった。東日本大震災の後には昨年、仙台市で開かれ、今年、本県で初めて南相馬市で開催される。

コンサートでは、福島市の詩人和合亮一さん（＝）が作詞し、上田さんが作曲した混声合唱組曲「黙礼」、合唱曲に編曲した相馬民謡、上田さん作曲の組曲「レクイエム～あの日、あなたを忘れない～」などを県内外から集う約百四十人が歌い上げる。コンサートは午後二時から。入場料は前売り千円、当日千二百円。中学生以下は無料。チケットは市民文化会館　相馬市のショッピングタウン・ベガで販売している。

昨年は仙台市で開かれ、今年は南相馬市での開催となった。

福島市の詩人和合亮一さんが作詞し、上田さんが作曲した混声合唱組曲「黙礼」、合唱曲に編曲した相馬民謡、上田さん作曲の組曲「レクイエム～あの日、あなたを忘れない～」などを県内外から集う約百四十人が歌い上げる。コンサートは午後二時から。入場料は前売り千円、当日千二百円。中学生以下は無料。チケットは市民文化会館　相馬市のショッピングタウン・ベガで販売している。

福島民報 2014年4月7日

犠牲者への追悼の歌声を響かせたコンサート

# 震災犠牲者に追悼の歌声

## 南相馬で市民参加コンサート

東日本大震災の犠牲者に思いを寄せる市民参加型コンサート「レクイエム・プロジェクト南相馬2014」は六日、南相馬市民文化会館で開かれ、追悼の歌声を響かせた。

レクイエム・プロジェクト実行委員会と同南相馬実行委員会の主催、福島民報社などの後援。同市の「ゆめはっと合唱団」など相双地区の約八十人をはじめ、全国各地から駆け付けた総勢約百二十人がステージに上った。仙台フィルハーモニー管弦楽団などの有志がオーケストラを担当した。

出演者は、同プロジェクトを進めてきた作曲家上田益さんの指揮の下、福島市の詩人和合亮一さんが作詞、上田さんが作曲した「黙礼」や上田さん作曲の組曲「レクイエム～あの日を、あなたを忘れない～」などを歌った。

同市原町区の男性（＝）は「古里と犠牲者を思う人の心が共鳴した良いコンサートで、希望をもらった」と述べた。

デーリー東北 2014年7月25日

最後の全体練習で仕上げを行う合唱団のメンバーたち＝22日夜、野田村生涯学習センター

## 野田で27日、初のレクイエム・プロジェクト

# 追悼、希望 歌に託し

### 被災者ら合唱披露 「感動の一日に」

「苦しみや悲しみを分かち合い、未来への希望を歌に託そう」―。東日本大震災の被災地・野田村で27日、「レクイエム・プロジェクト北いわて2014」と題し、メンバーの大半が被災した地元のコーラスグループ「コールわさらび」をはじめ、久慈や八戸、盛岡といった周辺地域、東京や神戸など全国各地から集まった有志による合唱コンサートが開かれる。震災から3年4カ月余り。村内で復旧作業が進む中、総勢80人は震災犠牲者に対する追悼の気持ち、故郷をめぐる思い、復興への願いを歌声に乗せる。（水野大輔）

プロジェクトは2008年、阪神・淡路大震災から15年の節目で神戸で始動し、11年3月の東日本大震災後も活動が継続。コンサートは昨年11月に仙台市、今年4月に福島県南相馬市で開かれており、岩手県内の開催は今回が初めてとなる。村の復興を支援する大阪大の関係者が、プロジェクト実行委員会代表の作曲家・上田益さん(58)にコンサートの開催を打診したのをきっかけに、準備が進められてきた。

当日はコールわさらびや久慈市の「コーラスけやき」など各グループの発表、参加メンバーが寄せたメッセージの朗読、プロジェクトのテーマ曲「レクイエム～あの日を、あなたを忘れない～」の演奏などを予定。指揮者を務める上田さんは「震災によるさまざまな思いを共有し、前に進むきっかけの場にしたい」と開催の意義を強調する。

プロジェクトでは地元にちなんだ楽曲がお披露目されるのが恒例となっており、今回は同村出身で、久慈在住の詩人宇部京子さん(62)が作詞した「とうさんの海」「村の子」「三陸鉄道が行く」など5曲を予定。

「プロジェクト参加で、地元の人たちとより結び付きが強くなった。震災前の野田の良かったところを見直す機会にしてほしい」と宇部さんは思いを語る。

今年1月から本格化した合唱練習や準備も大詰め段階。22日夜、村生涯学習センターで行われた最後の全体練習には約40人が参加し、上田さんの指導を受けながら最終調整に臨んだ。

本番が間近に迫り、コールわさらび会長の大澤和子さん(74)は「17人のメンバーのうち3分の2が被災したが、チームワークでここまで来ることができた。一人一人が気持ちよく歌い、多くの人が感動してくれる一日にしたい」と意気込む。

## オンリーワン売り込め

番煎じでは駄目。競争に打ち勝つには『ここにしかない』ものを徹底して売り込む「あさぐる」を取り上げ、は、ホテルの宿泊客がタクシーで朝市と朝風呂を楽しむ

ト。関係者は誇りに思っていい」と述べた。

また、増加傾向にある外

＊ ＊

岩手日報 2014 年 7 月 26 日



# 追悼の歌声 被災地に

### 野田・あす合唱コンサート

東日本大震災犠牲者の追悼と未来への希望を願う合唱コンサート「レクイエム・プロジェクト北いわて2014」（同実行委など主催）は27日午後2時から、野田村体育館で開かれる。久慈地域のほか、関東や関西の合唱関係者ら約80人が出演。同村出身の詩人の詩を使った作品も披露され、心を合わせ祈りの歌声を響かせる。

犠牲者の追悼と未来への希望を込め、歌声を披露するレクイエム・プロジェクトの合唱団と上田益さん（前列中央）

## 県内外から80人出演

### 宇部さん（同村出身）の作詞歌も披露

同プロジェクトは東京都世田谷区の作曲家上田益さん(58)が阪神・淡路大震災の犠牲者追悼のため、2008年に神戸市で始めた。活動は全国の被災地に広がり、東日本大震災後は仙台市や福島県南相馬市でも開かれたが、県内では初めて。

野田村での開催は、上田さんが友人から同村の被災状況を知らされたのがきっかけ。上田さんは11年7月に村を訪れ、合唱団体「コールわさらび」代表の大沢和子さん(74)に打診。大沢さんは「熱心な話に押され、やれることはやってみようという気持ちになった」と当時を振り返る。

それから3年を経て実現したコンサートでは、同村出身で久慈市在住の詩人宇部京子さん(62)の詩に、上田さんが曲をつけた組曲も歌われる。

組曲は村の四季折々の情景を描いた「村の子」や女性の目で海の豊かさを歌った「海女のうた」など全5曲。宇部さんは「村の情景が浮かぶよう意識して書いた」と話し、上田さんは「宇部さんの詩には古里への深い愛情がある」と魅力を語る。

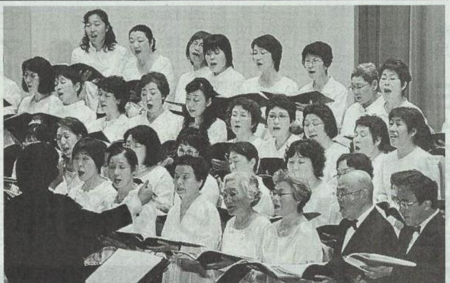
当日は県内の合唱団体のほか、仙台市や東京都、神戸市などから歌の仲間が集う。上田さんは「コンサートは音楽でそれぞれの思いを共有する場所。普段音楽を聴かない人もぜひ聴きに来てほしい」と呼び掛ける。入場無料。

岩手日報 2014年7月29日



# 胸に響く追悼の歌声

### 野田で公演 「とうさんの海」披露



祈りの歌声を響かせるレクイエム・プロジェクト合唱団のメンバー

東日本大震災の犠牲者の追悼と未来への希望を願う合唱コンサート「レクイエム・プロジェクト北いわて2014」（同実行委など主催）は27日、野田村体育館で開かれた。

約450人が来場。1部は県内の合唱団体がレパートリーを披露。2部では同村出身の詩人宇部京子さん(62)の詩から作られた楽曲「とうさんの海」など計5曲を、県内外から集まった約80人が演奏し、歌声を重ね合わせた。村の何げない日常を描いた曲は、聴衆の胸に響いていた。

久慈市栄町の立石真美子さん(56)は「歌の力はすごい。集まれば何でもできるという気持ちになった」と目を潤ませた。

コンサートを企画し、立役者となった東京都世田谷区の作曲家上田益さん(58)は「歌を通してそれぞれの人が持つ傷を分かち合い、喜びを何倍にもしていければ」と語った。

## ビーチバレー アツい戦い 洋野でフェスタ

夏の日差しの下、ビーチバレーを楽しむ参加者

洋野町のひろのUNIカップビーチバレーフェスタ（ひろのイベント事業実行委主催）は27日、同町種市の種市海浜公園で開かれ、

神戸新聞 2014 年 7 月 24 日



# 被災地同士 歌で絆深める

### 佐用町民合唱団 岩手で27日 追悼コンサート

練習に取り組む孝本さん、竹内さん、鍋島さん（前列右から）ら「佐用いのりのとき合唱団」のメンバー＝22日、佐用町佐用で

〈いつまでも いつまでも あなたの笑顔 忘れない……つらい思い出を あなたの胸に そっと抱きしめ 未来へ向かおう〉―。20人が犠牲となった2009年の豪雨災害で被災した佐用町民らでつくる「佐用いのりのとき合唱団」のメンバー4人が27日、東日本大震災の被災地、岩手県野田村で開かれる追悼コンサートに参加する。メンバーは「歌を通じて被災地の住民としての絆を深めたい」と鎮魂歌をささげる。（田上秀樹）

4人は、合唱団代表の孝本鈴子さん(73)（佐用町長尾）、竹内弘美さん(59)（同町上月）、藤井きよみさん(65)（同）、鍋島邦枝さん(66)（同町久崎）。

同村での追悼コンサートは、全国にある地震や豪雨の被災地に合唱団を結成し、犠牲者のための鎮魂歌を歌う「レクイエム・プロジェクト」の一環。「神戸ルミナリエ」の会場音楽を手がける作曲家上田益さんが08年からプロジェクトを進めている。佐用町でも、上田さんらの呼びかけに応え10年11月に合唱団が発足。20～70歳代の会社員や主婦ら計27人が町内の文化施設や集会所で練習に励んでいる。

27日は、佐用町の4人に加え、東日本大震災で被災した岩手県や宮城県、阪神大震災の兵庫県、東京大空襲を経験した東京都を加えた4都県11合唱団の有志計約80人が出演。上田さんが佐用豪雨の犠牲者への思いを作詞作曲した「大切なふるさと」のほか、阪神大震災の鎮魂歌「レクイエム～あの日を、あなたを忘れない～」などを歌う。

4人は22日、佐用町内で最終調整に臨んだ。鍋島さんは09年3月まで、町立幕山小に非常勤講師として勤務。当時、3年生だった小林文太君を教えたという。09年3月、3、4年生の児童が一緒に演じる劇の学習発表会が開かれることになった。しかし、魔法使いの役を子どもが嫌がって決まらず、鍋島さんが「役が決まらなければ劇はやめようか」と児童に問いかけた。すると、3年生だった文太君が「僕がします」と手を挙げた。「文太君は人の気持ちをくみ取れる優しい子でした。普段は控え目で、おとなしかった」と振り返る。

豪雨で、文太君は濁流のようになった水路の水に流されて行方が分からなくなり、死亡が確定した。鍋島さんは「『大切なふるさと』を歌うたびに文太君らの笑顔と水に流されて苦しむ顔が交互に浮かんで涙がとまらなくなる」と語る。追悼

神戸新聞 2014年8月3日

## 県西・北部豪雨発生丸5年前に

佐用町で死者・行方不明者20人を出した県西・北部豪雨の発生から丸5年となるのを前に、同町佐用のさよう文化情報センターで3日、追悼のレクイエムコンサートが開かれた。佐用や神戸などの合唱団員ら約80人が亡くなった人を思い、ふるさとの復興を祈って鎮魂の歌を響かせた。（大山伸一郎）

### 佐用でレクイエムコンサート

### 復興をイメージ 「大切なふるさと」披露

聴衆と一緒に「大切なふるさと」を歌い上げる合唱団＝さよう文化情報センター

神戸ルミナリエの会場音楽も手掛ける作曲家、上田益さん(58)＝東京都＝が、2008年から国内外の戦災や自然災害の被災地で開いている「レクイエム・プロジェクト」の一環。この日は、約400人の住民らが会場を埋め、佐用と神戸、東京の「いのりのとき合唱団」のメンバーらが舞台に立った。

09年8月9日の被災から5年間を振り返るメッセージが読み上げられ、合唱団が東北の風景を描いた曲や重厚なレクイエムを次々に歌った。

最後に、佐用の復興をイメージして上田さんが書き上げた合唱曲「大切なふるさと」が披露され、全22曲を歌い上げた。観客席では涙を流しながら聴き入る人の姿もあった。

濁流にのまれて亡くなった小林佐登美さん＝当時(40)＝と職場の同僚だった碓井多美恵さん(61)は「逆境でもくじけずに頑張っていた彼女と子どもたちの笑顔を思い出しながら、『いつまでも忘れない』と誓って歌いました」。指揮を終えた上田さんは「聴衆のみなさんが単に音楽を聴くのではなく、気持ちを共有していることがひしひしと伝わった」と感慨深げだった。

今後、「大切なふるさと」や鎮魂歌を長崎や広島、宮城など国内各地で歌い、10月にはオーストリアで公演する。

長崎新聞 2014年7月8日



長崎近郊 県南 県央

## 被爆70年に向けコンサート

### 来月17日 平和への願い 音楽で共有

### 作曲家・上田さん主宰の「レクイエム・プロジェクト」

被爆70年に向け鎮魂と平和への願いをオーケストラの演奏と合唱で共有しようと、作曲家の上田益さんが主宰する「レクイエム・プロジェクト」のコンサートが8月17日午後2時から、長崎市茂里町の長崎ブリックホールで開かれる。

コンサートへの意気込みを語る上田さん（左）＝県庁

プロジェクトは阪神大震災で甚大な被害に見舞われた神戸で2008年に発足。合唱の参加者を市民から募り、10年には上田さん作曲の組曲「レクイエム～あの日を、あなたを忘れない～」を初披露した。その後、原爆や東日本大震災などで大きな被害を受けた地域でもコンサートを開いている。

長崎でのコンサートは昨年に続き2回目。今回は被爆者を含む市民ら約110人で合唱団をつくり、昨年10月から練習を重ねている。組曲「レクイエム」のほか、沖縄のプロジェクトで生まれた混声合唱組曲「遥かなる海へ」の披露や東日本大震災被災者のメッセージ朗読などがある。被爆70年の来年は9月に浦上天主堂で開くことが決まっている。

7日に県庁で記者会見した上田さんは「被爆70年に向け、プロジェクトを多くの人に知ってほしい」と話した。

入場料は一般前売り千円（当日1500円）、中高生500円、小学生以下無料。浜屋プレイガイドなどでチケットを販売中。問い合わせは上田さん（電080・5181・6692）。（原口司）

### 世界平和祈念大行進 10月25日に実施

世界平和祈念行事実行委（会長・田上富久長崎市長）は7日、同市内で総会を開き、原爆犠牲者慰霊・世界平和祈念市民大行進を10月25日に開くことを決めた。

大行進は原爆犠牲者を追悼し、世界平和を訴える目的で1972年から毎年実施。幼稚園児と高校生が演奏で先導し、中学生が「市民大行進宣言」も読み上げる。参加者は例年約3千人で、平和公園を出発後、浦上天主堂前を通るコースと山里小前を通るコースに分かれて、爆心地公園まで歩く。

また、「世界平和祈念ポスター・標語展」の作品を9月1～30日に募集することも決定。小学、中学、高校、一般（標語だけ）が対象。[illegible]

……は「来年の被爆70年に向けて、力ある取り組みにしたい」とあいさつした。（山口紗佳）

販売センターへのご用は下記電話に

<長崎市>
長崎中央(822-8338)
長崎第一(822-6145)
本河内(824-8657)
日見(839-7242)
矢上(839-4998)
戸石(830-2932)
茂木(836-0156)
飯香ノ浦(836-1393)
飽ノ浦(861-6919)
旭町(862-8128)
稲佐(862-0769)
城山(861-8794)
城栄(845-3934)
小榊(865-5982)
福田・大浜(865-2886)
式見(841-1613)
手熊(841-2078)
新港(850-1417)
大浦(822-2451)
戸町(878-6608)
平山(878-8063)
深堀(871-3009)
小ケ倉(898-4755)
南ケ丘(821-9179)
出雲(824-8524)
白鳥(847-8940)
柳谷(848-6273)
住吉(848-6338)
川平(847-3872)
道の尾・滑石(856-2482)
滑石西部(855-6711)
浦上・平和(846-7311)
浜口(845-6910)
緑町(847-0368)
本原(844-6515)
三原(844-8467)
大手(847-8770)
高島(896-2235)
伊王島(898-2008)
高浜(894-2434)
脇岬(893-0118)
野母(893-0774)
蚊焼(892-0068)
香焼(871-4562)
黒崎(25-0308)
神浦(24-0111)
池島(26-2555)
村松(884-2097)
長浦(886-3620)
<西彼>
時津(882-3197)
時津東(882-2179)
長与(883-2700)
長与南(883-1714)
長与高田(860-6202)

本社報道部 (095・846・9240)
西彼中央支局 (095・882・7681)

長崎新聞 8月18日



## 「忘れない」歌声響く 長崎

### 戦争、災害犠牲者 市民ら悼む

「レクイエム～あの日を、あなたを忘れない～」を指揮する上田さんと合唱する市民ら＝長崎ブリックホール

戦争や災害で亡くなった人々への追悼の思いを込めた合唱コンサート「レクイエム・プロジェクト長崎2014」（同実行委など主催、長崎新聞社など後援）が17日、長崎市茂里町の長崎ブリックホールであった。市民ら約110人が、平和を願う歌声を響かせた。

同プロジェクトは、阪神大震災の犠牲者の鎮魂と復興を願う光のイベント「神戸ルミナリエ」などの音楽を担当する作曲家、上田益さん(58)を中心に2008年にスタート。阪神大震災から15年目の節目となった10年に上田さんが作曲した「レクイエム～あの日を、あなたを忘れない～」などの鎮魂曲を、神戸をはじめ戦災や自然災害に遭った各地の市民と共に演奏してきた。被爆地長崎でのコンサートは昨年に続き2回目。

コンサートは上田さんの指揮で「レクイエム」のほか、沖縄戦などの犠牲者にささげる「遥かなる海へ」など20曲を披露。東日本大震災被災地からのメッセージ朗読もあり、約900人が聞き入った。

上田さんは「来年の被爆70年は、浦上天主堂でコンサートを予定している。音楽の力で、平和で希望ある未来をつくりあげたい」と話した。（緒方秀一郎）

月刊「音楽の友」誌 2014年12月号

シュテファン寺院で行われた上田益「レクイエム《あなたを忘れない》」10月11日・ウィーン

# シュテファン寺院に響く日本からの声

## 上田益「レクイエム《あなたを忘れない》」

10月11日、ヨシュテファン寺院で上田益作曲の「レクイエム《あなたを忘れない》」が作曲者自身の指揮で上演された。この作品は阪神・淡路大震災の追悼のために作曲されたものだが、東日本大震災追悼演奏会の前、今回各地で既に何回か公演されている。それはこの作品がレクイエムの基本を踏まえ、作曲者本人のラテン語の作詞で「苦難への光を」という問題を深く捉える所えを語れるという内容にもよるものであろう。

当日は日本音楽界の視点から数知れた合唱団、仙台フィル、プラハ響の在京に加え、地元のドーム・オーケストラなど194人の参加で上演された。500人近い聴衆を感動を与えた。シュテファン寺院では宗教曲をプログラムに入れることと、水曜が当日のことという厳しい条件があり、初めにモーツァルトの《稲妻楽たちよ》（K.218）の後、上田作品が演奏され、最後をアヴェ・ヴェルム・コルプス（モテット）で演奏は閉じられた。

特筆すべきはこれらモーツァルト作品と上田レクイエムが違和感なく溶け合っていた点で、現代作品にありがちな見せかけの強さを感じさせず、音楽の内容を人の心に届くものであった点であろう。それがこれ迄で多くの公演を可能にしている原因であろう。ウィーンでの日本の音楽団体の演奏の中では目すべきものであった。上田氏によると、作曲かつまらないと演奏中断を立つ人が多いそうだが、唯一人聴衆を立つ人もなくこの演奏会の成功を協同っていた。

取材・文＝野村三郎

音楽の友 2014年12月号掲載

河北新報 2014年10月31日

# 鎮魂と希望の歌 披露

## 被災地合唱団 ウィーン演奏会に参加

ウィーンの大聖堂で合唱を披露する「レクイエム・プロジェクト仙台」のメンバーら

東日本大震災などの被災地をつなぐ合唱コンサートを9月に仙台市で開催した「レクイエム・プロジェクト仙台」のメンバーが11日、オーストリア・ウィーンの聖シュテファン大聖堂の演奏会に参加し、鎮魂と希望を託す歌声を響かせた。

大聖堂の招きで演奏会に臨んだのは、仙台市、陸前高田市、南相馬市などからの57人を含む総勢145人の合唱団。プロジェクト代表の作曲家上田益（すすむ）さんによるレクイエム（鎮魂歌）など計14曲を、現地のオーケストラとともに披露した。

被災地の悲しみと苦しみ、復興への光などを表現した歌声に、約800人の聴衆から大きな拍手が送られた。

上田さんは「心に抱えた思いを込め、涙して歌うメンバーもいた。海外からの支援に対する感謝と震災の記憶を伝える取り組みを今後も続けていきたい」と話した。

朝日新聞 2014年10月

# 鎮魂曲 ウィーンで捧げる

## 日本人合唱団、平和を願い

鎮魂と平和への願いを込めた歌を大聖堂に響かせた＝上田さん提供

850年の歴史があるウィーンのカトリック教会に昨年と今年、公演があった。

ウィーンで公演した教会は、モーツァルトにゆかりがあるという聖シュテファン大聖堂。大聖堂一帯の演奏する「レクイエム・プロジェクト」の一環。長崎、広島、福島、神戸などから参加した145人の合唱団が上田さんの指揮で、現地のプロのオーケストラと「レクイエム」の全10曲を披露した。

プロジェクトは2008年、東京の作曲家上田さんが中心となって、阪神大震災の被災地、神戸で始めた。上田さんが作曲した「レクイエム～あの日を、あなたを忘れない～」を被爆地や東日本大震災の被災地など、今月9日から練習を再開するという。

長崎新聞 2014年 10月29日

長崎新聞 2014年（平成26年）10月29日 水曜日 ローカル （18）

長崎近郊 県南

# 大聖堂に響く鎮魂歌

## オーストリア・ウィーン

戦争や自然災害で亡くなった人々への鎮魂の思いと平和への願いをオーケストラの演奏と合唱に込める「レクイエム・プロジェクト」の公演が11日、オーストリアの首都ウィーンの聖シュテファン大聖堂であった。長崎からの15人を含む145人の日本人合唱団が壮大なハーモニーを大聖堂に響かせた。

大聖堂は約850年の歴史を持ち、モーツァルトゆかりの教会として世界的に知られている。「レクイエム―」を聞いた大聖堂関係者からの誘いを受け、公演することになった。上田さんによると、日本人作曲のレクイエムが大聖堂で演奏されるのは初めて。

日本からは長崎、広島、宮城、福島などから合唱団員が現地に渡り、「レクイエム―」を披露。曲が終わると、約800人の聴衆が総立ちになり、10分以上拍手が鳴りやまなかったという。

合唱団の一人で、長崎市大橋町の被爆2世、土肥由紀子さん（61）は「歌っているときは若くして亡くなった被爆2世の友人の顔が浮かび、涙があふれた。気持ちは聴衆に届いたはず」と話した。（原口司）

平和を願い歌声を響かせたレクイエム・プロジェクトの公演＝11日、ウィーンの聖シュテファン大聖堂（上田さん提供）

## 戦争、災害 哀悼込め 長崎の15人も合唱

プロジェクトは、阪神大震災犠牲者の鎮魂と復興を願う光のイベント「神戸ルミナリエ」の演出用音楽を担当する作曲家、上田益さんが中心となり、2008年に開始。10年に上田さん作曲の組曲「レクイエム～あの日を、あなたを忘れない～」が完成し、被爆地や東日本大震災の被災地などで地元市民の合唱で披露している。長崎では昨年と今年、公演が開かれた。

読売新聞 2014年11月23日 ↓

多くておいしい。みんなで満喫しています」と演奏を聴きながら盛り上がっていた。

28日まで。午前11時（24～26日は午後4時）～午後9時。

## 追悼・復興へ歌声

東日本大震災の犠牲者の追悼と復興への希望を込めて歌うコンサートが21日、日立システムズホール仙台（仙台市青葉区）で開かれた。仙台フィルハーモニー管弦楽団などの伴奏で、仙台市の被災者ら約160人が、歌声を響かせた。

コンサートは、長野五輪の公式楽曲などを手掛けた作曲家・上田益さん（58）が阪神大震災の犠牲者を追悼する目的で2008年に始めた「レクイエム・プロジェクト」の一環。東日本大震災後は東北地方でも行われており、仙台では昨年に続き2回目だ。上田さんが作曲した「レクイエム～あの日を、あなたを忘れない～」や、福島市出身の詩人・和合亮一さんが作詞した組曲など18曲が披露された。

県内外から約800人が訪れ、仙台市太白区、大学2年梅津友紀さん（20）は「家族の身を案じながら学校で過ごしたあの夜を思い出した。決して忘れてはいけないと改めて思った」と話していた。

USO放送

歴史に名を残す
夢はちゃんと書いとこう！
―小学校の文集
（白石・万休）

琉球新報 2015年6月23日　沖縄戦終結70年の慰霊の日に開催された各コンサート記事は、レクイエム・プロジェクト沖縄2015の紹介に加え、写真が使用されています。↓



エンタメ

## 歌を通し平和かみしめ

### 各地で慰霊の日コンサート

戦後70年の節目を迎える慰霊の日を前に、県内各地で平和への思いなどを歌うコンサートやライブがあった。出演者も子どもから年配、県内外からと幅広かった。歌を通して来場者と共に歌い、コンサートやライブを楽しめる日常を再確認し、平和への思いを新たにした。23日も県内各地で慰霊の日コンサートが開催される。（大城徹郎）

心を一つに命の大切さ、平和への思いを歌う出演者＝14日、浦添市てだこホール

…じて命の大切さを訴え…ート「レクイエム・プ…沖縄2015～いのちを…」が14日、浦添市て…あった。県内外の…ら80代までの合唱…災被災者への思…響せた。…戦災や自然災…10カ所で行っ…2011年から開…童合唱組曲…の伊波希望…る時間のこ…をつなげ…ている。今

生きている一人一人の命の素晴らしさを歌に込められれば」という思いを詩につづった。野原樹子の指揮に合わせ、沖縄・名護ジュニアコーラスの子どもたちが"いつまでも平和な世の中を"という決意を込めるように歌声を響かせた。

混声合唱組曲「遥かなる海へ」は「祖父の遺影を見るたびに沖縄戦で亡くなった祖父のことを考える」と言う伊波が「この悲しみの上に沖縄の今がある。戦争の愚かさを風化せず伝えたい」との思いを込めた。沖縄だけでなく、宮城、広島、長崎などの合唱団員が全ての命の尊厳、祈りの思いを歌うと、会場は神聖な雰囲気に包まれた。

NPO法人日本国際童謡館館長で県内外でコンサートを行う大庭照子の「沖縄慰霊の日、終戦70年に寄せて 大庭照子シャンソンを歌う」が17日、那覇市の県男女共同参画センターているるであった。熊本県出身の大庭自身も小学校1年生の時に空襲を体験している。沖縄の思いと重ねて「激戦地」や「生きる」「友情は太陽」など平和をテーマにした歌で、声を震わせながら歌い、沖縄の人々と思いを共有した。

新良幸人の「第25回一合瓶ライブ」は20日、那覇市の桜坂劇…

に。意識し、ことしで25回目。会場には泡盛の香りがほのかに漂い、新良の三線や新良と親しいミュージシャンとの音色が包み込んだ。「月ぬ美しゃ」を歌い終わり、訪れたファンと乾杯で泡盛を飲み干した新良は、下地勇や大島保克などとの共演で会場を沸かせた…

一つにすることを目的に2009…から始まった、第7回慰霊の…LIVE「美ら太陽ぬ島から…想いを唄にのせて～」は20…北谷町のライブハウスモッ…開催された。Ryutyu…メイジンググレイス～月…のうた～」を軽快に明る…

← 沖縄タイムス 2015年6月14日

つしま丸児童合唱団（前列）と声を合わせる長崎県の活水高校の生徒ら（後列）＝13日、那覇市若狭・小桜の塔

## 長崎の高校生、歌で鎮魂

## 県内児童と平和交流祭

### 対馬丸記念館

対馬丸記念館は13日、那覇市若狭の慰霊碑「小桜の塔」で、長崎県の活水高校の生徒11人と県内の小学生でつくるつしま丸児童合唱団15人との交流平和祭を開いた。同高生徒は14日に浦添市のてだこホールで開かれる鎮魂コンサート「レクイエム・プロジェクト沖縄2015」に出演するため来県。本番を前に同館を訪れ、平和交流した。

毎年8月22日の対馬丸慰霊祭で歌う「大切なふるさと」を作詞作曲した上田益さんも参加。

児童、生徒は上田さんの指揮に合わせて「大切なふるさと」や「小桜の塔の歌」を合唱し、戦没者の魂を慰めた。

活水高3年の武田留奈さんは「長崎の原爆はよく知っているが、沖縄戦はあまり知らなかった。同じ戦争でも違う悲しみがあることを知った」と語った。つしま丸児童合唱団に所属する糸満南小4年の上原一路（ひろ）さんは「皆で歌って、平和っていいなと感じた」とほほ笑んだ。

↓ 琉球新報 2015年6月14日



## 鎮魂の歌声響く

### 長崎の高校生ら 小桜の塔で合唱

長崎県の活水高校の生徒11人が13日、1944年に学童疎開船・対馬丸が米軍に撃沈された対馬丸事件の犠牲者を祭る那覇市の小桜の塔を訪れ、つしま丸児童合唱団と「大切なふるさと」などを歌った。対馬丸事件を事前に学んだ生徒たちは、沖縄戦と長崎に落とされた原爆の犠牲者への鎮魂の思いを歌声に込めた。

活水高校の生徒らは「大切なふるさと」を作詞・作曲した上田益（すすむ）さん（59）が実行委員会代表を務める「レクイエム・プロジェクト」の公演（14日、浦添市てだこホール）に出演するため来県した。

「大切なふるさと」を歌う、つしま丸児童合唱団の子どもたち（前列）と活水高校の生徒たち（後列）＝13日、那覇市の小桜の塔

生徒たちは県平和祈念資料館などを訪ねて事前学習した。この日は小桜の塔に献花し、合唱で歌詞の「ふるさと」を「沖縄」「長崎」に変えて歌った。

活水高校の平和学習部で活動する武田留奈さん＝3年＝は「体験者の証言には資料で感じられない生々しさがあった」と語った。福田真理子さん＝同＝は「対馬丸事件は悲惨で、自分の身に起きたらと考えると耐えられない。戦争が二度とないように、平和の願いを込めて歌った」と話した。

つしま丸児童合唱団の花岡光君＝垣花小5年＝は「一緒に平和を伝えることができてよかった」と話した。

朝鮮人軍夫悼む

…行われた＝写真。沖縄恨之碑の会が主催し約70人が参…

長崎新聞 2015年5月26日

2015年(平成27年) 5月26日 火曜日 ローカル

# 平和の願い 合唱に込めて

## 浦上教会で9月公演

### レクイエム・プロジェクト 長崎、沖縄の交流も

合唱を通して、平和への願いを共有しよう！。東京都の作曲家、上田益さんが主宰する「レクイエム・プロジェクト」のコンサートが9月22日午後2時から、長崎市本尾町のカトリック浦上教会で開かれる。市被爆70周年記念事業の一つ。

プロジェクトは阪神大震災で被害に遭った神戸で2008年、発足。災害、戦争で傷ついた人々の交流や犠牲者の追悼を目的に、公募された市民合唱団が組曲「レクイエム」（上田さん作曲）を合唱する。これまで東京、沖縄、東日本大震災被災地の仙台など全国9カ所で30回以上開催した。

今回は、1944年に沖縄から長崎を目指した学童疎開船「対馬丸」が沈没し、児童ら1476人が亡くなった事件を受けて、初めて長崎と沖縄の子どもたちが交流。互いの公演に参加し、戦争の爪痕が残る場所を訪れるなどして相互理解を図る。

3回目となる長崎公演では地元市民140人、広島、東京などの有志70人、沖縄と京都の児童合唱団50人、計260人が「レクイエム」のほか、上田さんが平和の願いを込めて新たに制作した組曲などを歌う。

25日、長崎市役所で会見した上田さんは「被爆70年の節目に向けて3年前から準備してきた。平和の思いを若い世代へ継承し、活動を続けたい」と話した。

前売り券は一般千円、中・高校生500円。28日から浜屋プレイガイドなどで取り扱う。小学生以下無料。問い合わせは上田さん（電080・5181・6692）。（関根めぐみ）

公演で歌う曲を持って説明する上田さん（左）＝長崎市役所

### シバの束を産卵場所に

長崎鶴洋高3年

アオリイカ増殖へ海中投入

アオリイカの産卵場所、34人が25日、海藻の代を確保しようと、県立長崎鶴洋高（木戸隆校長、長崎市為石町の沖合に564人）水産科で水産資源の増殖を学ぶ3年生が、海中に投入した。9月上旬に引揚げる予定。

長崎新聞 2015年9月23日　浦上天主堂で開催した被爆70年の追悼コンサートの記事が1面に掲載 されました。↓

9月23日 水曜日 第24655号

長崎新聞

# 北方領土協議 来月再開

## 大統領の年内来日も調整

日ロ外相会談

# 辺野古反対、国連で演説

沖縄知事「人権侵害」

## 250人 声重ね 平和の響き

浦上天主堂「レクイエム・プロジェクト」

被爆70年

# 南スーダンの自衛隊 駆け付け警護

沖縄タイムス 2015年10月24日

長崎2015コンサートに参加した沖縄の児童合唱団員たちは、平和公園で献花した後、原爆資料館の見学、被爆者の方によるお話を聞き、沖縄戦とはまた違う戦争の惨禍に触れました。

タイムス 2015年(平成27年) 10月24日 土曜日 地

# 名護の中学生 長崎で鎮魂歌

## 対馬丸にも思いはせる

# 絵本で親子向き合う

宜野湾 読み聞かせセミナー

日本経済新聞 2015年8月

## 文化往来

### 惨禍の地で鎮魂歌 合唱団の活動8年目に

災害や戦争の惨禍にみまわれた地で、犠牲者にささげる合唱曲を歌い継ぐ「レクイエム・プロジェクト」が、2008年の活動開始から8年目を迎えた。阪神大震災の被災地である神戸から始まり、現在は東京、沖縄、長崎など全国10カ所で計約600人が合唱団に参加している。

提唱者で活動を統括する作曲家の上田益は「災害も戦争も時が経てば記憶は風化する。少しでも後世に受け継ぐためにという趣旨に、多くの人が共感してくれた」と語る。今年7月には仙台市と広島市で、今月6日には宮城県気仙沼市でコンサートを開催した。30日にティアラこうとう（東京・江東）で開く公演には、合唱に約200人、オーケストラに仙台フィルハーモニー管弦楽団を中心とした約30人が参加。上田が作曲した「レクイエム」「スターバト・マーテル」などを演奏する。

プロジェクトの特徴は、実施地域の人々が他地域で開催されるコンサートにも積極的に参加し、交流してきた点にある。「各地の人々が痛みを共有し、分かち合える活動を目指してきた。予想以上の成果があった」と上田は言う。阪神大震災から20年、戦後70年にあたる今年、音楽を通じて命の尊さを見つめ直す活動が改めて注目される。

岩手日報 2016年5月3日



## 全国に響け 北三陸の歌

### 作詩の合唱曲集発売 失われた命や古里思う

**野田出身の宇部さん（久慈）**

宇部京子さんの作詩で出版された合唱曲集「三陸鉄道が行く」

野田村出身の詩人宇部京子さん＝久慈市在住＝が作詩した合唱曲集「三陸鉄道（さんてつ）が行く～小さな村の物語～」が全国発売された。同市川崎町のアンバーホールで7月18日に開かれる合唱コンサート「レクイエム・プロジェクト北いわて2016」（実行委主催）で、出版を記念した合唱がオーケストラ伴奏で披露される。

「雪の村」「村の子」「海女のうた」「とうさんの海」など全7曲の楽譜を収録。東日本大震災で失われた命や古里への思い、希望や夢に満ちた詩の世界を広げ、子どもからお年寄りまで一緒に歌える楽曲に仕上げた。

上田 益さん　宇部 京子さん

作曲を担当し、合唱コンサートで指揮者を務める上田益さん＝東京都＝は「宇部さんの詩は北三陸の自然風土に根差している。第2弾を一緒に作っていけたら」と評価する。宇部さんは「思いがけずに夢がかない、良い出会いに感謝している」と語った。

定価は1700円で全音楽譜出版社から発売。出版を記念して2人から久慈市に寄贈された。

合唱コンサートは震災犠牲者の追悼と未来への希望、願いを込めて3回目の開催。久慈、盛岡広域住民による北いわて合唱団に加え、プロのオーケストラや声楽家らが出演する。チケットは5月10日発売。

海と山の幸ぎゅっと

ハンナ2016年5月号掲載
（月刊ショパン姉妹誌）

## 震災から5年

東日本大震災からちょうど5年が過ぎた今年、各地でさまざまなコンサートが行われた。すべては網羅できないものの、岩手、福島、埼玉、京都、東京、ウィーンの計6都市でそれぞれ行われた公演や事前練習のリポートを掲載したい。

### レクイエム・プロジェクト北いわて2016

2008年に神戸で始まった「レクイエム・プロジェクト」。上田益作曲「レクイエム—あの日を、あなたを忘れない—」の演奏を通して、被災地と被災地、地域と地域、人と人とを歌でつなぐ市民参加型合唱プロジェクトである。2011年の震災を経て全国に広まり、現在は各地域の合唱団によって自主運営されている。今回は、夏の演奏会「レクイエム・プロジェクト北いわて2016」に向けた練習に取り組む合唱団を訪ね、指揮者や合唱団員にお話をうかがった。（3月14日、岩手県久慈市）

レクイエム・プロジェクト北いわて合唱団の練習 指揮：上田益氏

**作曲家・上田益氏 合唱団は人と人をつなぐ交流の場**

「このプロジェクトに復興支援という言葉は使いたくない」と、この企画の主宰者で作曲家の上田益氏は自然体で語った。

このプロジェクトは、支援する側が作った枠の中に参加を促すのではない。被災地域の方々が歌を通して、人間的なつながりを回復するプロセスを大事に育てようとしている。合唱団には直接又は間接的に大震災と津波の被害を受け、家族や友人知人を亡くしている人が参加している。合唱団は一種のコミュニティであり、参加の動機はさまざまであるが、根本には共通した感情が芽生えていく。それは理不尽な自然災害を乗り越えた人びとと一緒に、歌で犠牲者を追悼し、自らも前向きに生きようとする感覚である。

上田氏は「合唱団は痛みを共有した方々の交流の場」であり、「震災や戦災の被害に遭われた地域（沖縄、長崎、広島、神戸、兵庫県佐用町、仙台等）のプロジェクトの参加者と交流できる場」とし、合唱を通して被災者同士をつなぎ、被災地と被災地をつなぎ、被災地域の人とそれを応援する人びとをつないでいる。震災から5年が過ぎたが、今後もこのレクイエム・プロジェクトが果たす「つなぐ」と言う役割は、さらに大きな意味を持ってくるだろう。

**プロジェクトに共感し 自らも参加する久慈市長**

久慈市の遠藤譲一市長は「震災後の人と人とのつながり、心のつながりを大事にしていきたい。この合唱の魅力を市民の間に広げたい」と語る。また「ひとりではできないけれど、全国から力を貸しに歌いに来てくれて、ひとつのすばらしいものが出来上がる」と、このプロジェクトの意義を「人とのつながり」に見出している。「来てもらうだけでなく、今度は同じ活動をしている地域へ歌いに行こう。行けばまた友人に会えるのです」と、市長の目が輝く。久慈市はこの地域（久慈市、野田村、広野町等）の活動の核となり、練習場を無料提供している。

左より遠藤譲一久慈市長、上田益氏

**野田村出身の詩人 宇部京子さん**

上田氏は自身の「レクイエム」以外に、岩手県九戸郡野田村出身の詩人・宇部京子さんの詩に作曲をしている。宇部さんは「津波により喪失したけれど、そこには豊かな故郷があったことを表現した」と語る。詩には、確かにそこに幸せな人間の営みがあったことが織り込まれている。演奏会では「とうさんの海」や「三陸鉄道がいく」など、地元の目線で原風景を歌った曲も披露される。故郷への変わらぬ愛、亡くなった人びとの生きた証を綴ったこれらの詩を、上田氏の優しいメロディーが包んでいる。

**地域の人びとによる自主運営**

地元の人びとが生き生きと自己表現し連帯感を持てるのは、なにも合唱団で歌うことだけではない。合唱団を運営面で支える自主的な活動も、このプロジェクトの特徴であり、そこに生きがいを感じる人もいる。

「演奏会というひとつの目標に向かって皆でアイデアを出しあい、支え合い、誰かを助け、そして夢を語り合うことで、生きている喜びを感じる」と実行委員の合唱団コール「わさらび」代表・大沢和子さんや、事務局長の東育子さんが嬉しそうに話す。人をつなぐ懸け橋となって働いているこの方々の情熱と、気持ちの暖かさに敬意を表したい。

**指導者・小林友美さん**

また、現場で合唱団の指導に当たっている小林友美さんの力なくして、このプロジェクトは成功しないであろう。さまざまな体験を持った被災者の方々、初めて合唱をする方など、色々な状況を受け入れながら、たくさんの人に音楽でエネルギーを与えている。

「100名以上のさまざまな背景を持った人が、同じ言葉にその思いをのせられるのは合唱しかない。仲間と一緒に歌い上げた喜びや達成感で、自分がひとりではないことを実感できる」と小林さんは言い、音楽の力を信じている。

**"日常"を取り戻す**

仮設住宅で暮らす合唱団員の佐藤イクヨさんは、津波で家が流され、最初は悲しい想いで参加したが、演奏会後に家族を失った仲間から「元気をもらった」と言われ、自分が以前のように歌っても良いのだと気づかされたと言う。佐藤さんにとって大事なのは [illegible] 練習に通うこと、つまり震災前の日常に戻るということで、悲しみは過去の出来事として距離を置き、心の整理ができるようになったと言う。このプロジェクトをきっかけに再スタートした大切な"日常"は、その人にとってかけがえのない心の回復につながっている。

最後に、プログラムに掲載された、合唱指導者・小林友美さんのメッセージを紹介する。

あなたの声はちいさくとも、
みんなの声で大きくなる。
みんなの声はあなたの想い
あなたの想いは、みんなをつなぐ。
みんなで進む。未来へ進む。
——合唱は、復興へ向かうふるさとの様だと、このプロジェクトを通して気付くことができました。
みなさまの想いが、未来へと
"つながりますように。"
For our SMILE !!

（四野見和敏）

左より合唱指導者・小林友美さん、実行委員代表・大沢和子さん

**レクイエム・プロジェクト 北いわて2016**
日時 2016年7月18日（月・祝）
会場 久慈市アンバーホール
曲目 レクイエム ～あの日をあなたを忘れない～（上田益 作曲） その他、北いわてで生まれた歌
HP ▶ requiem-project.jp

神戸新聞 2016年11月26日

神戸新聞
（第3種郵便物認可）

## ルミナリエの会場音楽収録

# ミサ曲 オルガンと歌で

作曲家の上田益さんとオルガン奏者の佐々木悠さん（最前列右から2、3人目）と声楽家たち＝神戸市須磨区横尾9、啓明学院中学校・高校

阪神・淡路大震災の犠牲者を悼む「神戸ルミナリエ」の会場で流されるコーラスが、神戸を拠点に活動する声楽家らによって録音された。今年は過去最大の編成で、初めてオルガンの生演奏とともに本格的なミサ曲を収録。宗教曲に取り組む歌手たちが重厚なアンサンブルを披露している。（松本寿美子）

録音は10月、啓明学院中学校・高校（神戸市須磨区）のチャペルで実施。1999年からルミナリエの会場音楽の作曲を手掛ける上田益さん(60)＝東京都＝が指揮し、声楽家グループ「ヴォックス・フマーナ」と「ヴォイス・ペクティブ」に所属する男女13人が臨んだ。

小規模なミサ曲を意味する「ミサ・ブレヴィス～平安への祈り」は、伝統的な形式に沿った計6曲で構成。上田さんは「今も自然災害や戦争は絶えない。心静かにとの願いを込めた」と話す。

オルガンを演奏するエリザベート音楽大学（広島県）専任講師の佐々木悠さん(33)は、東日本大震災で仙台市の実家が被災し、津波で友人を失った。「大地震の被災地で流れる音楽に縁を感じた」と力を込める。

録音に参加した緋田吉也さん(53)、芳江さん(51)夫婦＝神戸市灘区＝は「ハーモニーやリズムは現代的で新しい。光を見ながら音楽にも耳を澄ましてみて」と話す。

ほかに点灯・消灯時用の曲とオルガンのソロ曲があり、12月2～11日のルミナリエ期間中に会場で使用される。音楽を収録したCDも販売される。

## 過去最大の編成 神戸の声楽家ら13人合唱

2016年のバチカン・イタリア特別公演において、アッシジの聖フランチェスコ聖堂で初演し、それに先立ちローマ法王に献呈する栄誉を与えられた「ミサ・ブレヴィス～平安への祈り」の録音記事です。
KOBEルミナリエ2016の音楽CDに特別収録し、期間中会場でも流れていました。

毎日新聞 2017年1月23日

# 犠牲者、古里へ思い重ね

## 被災者が追悼コンサート

神戸

阪神大震災で被災した人たちによる追悼のための合唱コンサート「レクイエム・プロジェクト神戸」が22日、神戸市中央区の神戸文化ホールであった。震災後に生まれたオリジナル合唱曲を披露し、犠牲になった人や古里に思いをはせた。【五十嵐朋子】

### 仙台、佐用からの参加者も

阪神大震災 22年

「神戸ルミナリエ」の音楽も手がける作曲家の上田益さん(60)＝東京都＝が主宰し、2008年に公募で結成した。毎年、阪神大震災のあった1月17日に合わせコンサートを続けている。「それぞれが心に思い浮かべる人や景色に向け、思いを重ねて」が団のモットーだ。

この日は、団員らが語った被災体験から上田さんが着想した合唱組曲「レクイエム」や、東日本大震災を受けて作られた「黙礼」などから20曲を披露した。

ステージに立った団員約100人には、仙台市や佐用町など阪神大震災以外の災害被災地からの参加者もおり、「希望を捨てないで」と歌い上げると、会場から大きな拍手が湧いた。

西宮市で被災したアルトの亀井純子さん(68)は「亡くなった友人の息子さんや、避難所で助け合った人たちのことを思った。歌うと心が軽くなります」と話していた。

災害で犠牲になった人たちに思いをはせて歌う団員ら＝神戸市中央区楠町の神戸文化ホールで

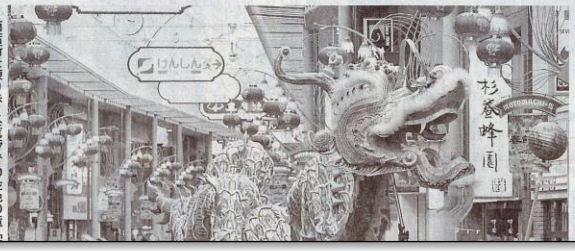
お仏壇・墓石からギフトまで…
浜屋
総販本社フリーダイヤル
0120-1616-94
http://www.hameya.co.jp/

## 金色の竜 商店街 練り歩き

### 春節前に神戸プレイベント

神戸市中央区の中華街・南京町などで22日、中国の旧正月を祝う春節祭（27～29日）のプレイベントがあり、竜舞や獅子舞があった。商店街では全長47㍍の金色の竜「龍龍（ロンロン）」が太鼓の音に合わせて舞いながら、人波を分けるように練り歩き、大勢の来訪を誘った。

春節祭は、神戸華僑総会や南京町商店街振興組合などでつくる実行委員会の主催で29回目。南京町周辺では27日、三国志など中国の歴史上の人物に扮（ふん）したパレードがあるほか、春節祭期間中、舞踊や太極拳などのステージイベントもある。【原田悠自】



商店街を練り歩く全長47㍍の金色の竜「龍龍」＝神戸市

### 当番医

＜23日＞◇神戸市◇1次▽急病診療所（内）21時～23時40分＝341・2313（中央区橘通4）▽神戸こども初期急病センター（小）19時半～翌6時半＝891・3999（中央区脇浜海岸通1）▽こども急病電話相談20～翌7時＝891・3499▽小児救急医療相談

<たくさんのお力添えに、心から感謝申し上げます>

工藤欣三郎 様、佐伯康則 様
緋田芳江 様、北爪かおり 様、栗木充代 様、眞木喜規 様、橘 茂 様
林 葉子 様、陶山薫子 様、河村泰子 様
本宮廉子 様、横町あゆみ 様、大塚雅仁 様、田所夕紀 様
佐賀慶子 様、平川敬子 様、菅原紀子 様、千葉祥子 様
大島久美子 様、大下枝里子 様、柳原真希 様
大岩しのぶ 様、ゲイル徳子 様、小林友美 様、廣﨑 恵 様

●

各地域のレクイエム・プロジェクト実行委員の皆様
各地域のレクイエム・プロジェクト合唱団員の皆様

●

松川暢男 様、大堀 哲 様、志岐光昭 様、西郷寛子 様、大友靖雅 様、我妻雅崇 様
吉田学史 様、岩永崇史 様、城間 正 様、田前義徳 様
奥平めぐみ 様、城間尚子 様

●

和合亮一 様、伊波希厘 様、宇部京子 様、上田由美子 様

●

菅 英三子 様、佐藤順子 様、髙山圭子 様、松本佳代子 様、八川浩子 様
中川詩歩 様、下村美穂 様、熊谷隆彦 様、小藤洋平 様、田尻 健 様、松原 陸 様
今田陽次 様、坂口寿一 様、池端 歩 様、今泉仁志 様、高橋正典 様
石塚幹信 様、新見準平 様、佐々木洋平 様、時宗 務 様
これまでにご協力いただいた声楽家の皆様

●

森 悠子 様、長岡京室内アンサンブルの皆様
仙台フィルハーモニー管弦楽団の皆様
九州交響楽団・永田 明 様、長崎公演でご出演いただいているオーケストラの皆様
村上ひろみ 様、朝永侑子 様、細江真弓 様、木村正雄 様、木村直子 様
佐藤麻以子 様、佐々木 悠 様

●

千葉久美子 様、佐藤若子 様、けせん第九を歌う会の皆様
伊藤祥子 様、高田合唱団の皆様
永田恵子 様、ゆめはっと合唱団の皆様
右近大次郎 様、ハイドンコレギウム合唱団の皆様
関 健一 様、飯野混声合唱団の皆様
活水中学校・高等学校 様
鶴渕信子 様、船越しのぶ 様、浦添少年少女合唱団の皆様
野原樹子 様、根路銘千香 様、沖縄・名護ジュニアコーラスの皆様
渡具知 愛 様、城岳混声合唱団の皆様、うまんちゅ混声合唱団の皆様
甲田 潤 様、弓田真理子 様、すみだ少年少女合唱団の皆様
西牧 潤 様、宝塚少年少女合唱団の皆様

●

森須奏絵 様、半嶺めぐみ 様、新山麻美 様、永田素彦 様、森 知子 様

●

(株)ケー・エフ・シー 様、高田俊太 様
三菱東京UFJ銀行 様
(株)ジーベック 様、三井康嗣 様、岡部翔子 様、岩本愛美 様
グラフィック・デザイナー 和田 忠 様
クラップス 様
コプロス(株) 様
(公財)音楽の力による復興センター・東北 様

●

辰巳満次郎 様
渥美公秀 様、稲場圭信 様、戸石伸泰 様、原 令子 様、ゾルガ植杉加奈子 様
矢川ピアノ工房・矢川光則 様
(株)エムセックインターナショナル 様、丸尾直史 様、岩本絵美 様
高田信子 様、高田 薫 様

そのほか、本当にたくさんの皆様

# 技術の力で未来を支える

建設ファスニング技術を通じて道路・鉄道・建築耐震などの安全対策に注力し、社会の発展と環境づくりに貢献します。

GBRC 性能証明 第 01-03 号 改 2

## ハイブリット 耐震補強工法

本工法は、工事中の騒音や振動、粉塵を軽減できる特長を生かしながら、病院や学校あるいは事務所建築を中心とした、居ながらの耐震補強工事を可能としました。

内付工法　内装仕上げ例

外付工法　外観

## ケー・エフ・シーはレクイエム・プロジェクトを応援します！

建技審証第 1203 号

## せん断補強RMA工法

「既存ボックスカルバートや擁壁などの
連続壁に対し、内空断面を侵さず補強を行いたい。」
そんな希望にお応えするため開発されたのが、
RMA 工法です。

RMA 工法施工前

RMA 工法施工後

【事業内容】
耐震関連工事の設計・施工及び環境・安全施設工事
建設用ファスナー類及び付属品の販売・施工
トンネル掘削用資材の販売

【事業所】
東京・大阪・名古屋・札幌・仙台
横浜・静岡・岡山・広島・福岡

KFC 株式会社 ケー・エフ・シー　http://www.kfc-net.co.jp

2017.2.22 ver.